

フーゴR1500 2台用 基本・延長・連棟

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

- 警告** ・ 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** ・ 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

- お願い** ・ 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・ 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- 補足** ・ 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

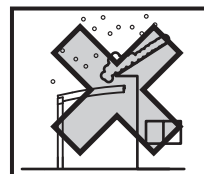
ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1-1、1-2、2-3等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

！ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 積雪（新雪）50cm（1500N/m²）を超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行ってください。



基礎工事について

注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- 基礎の大きさ、基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 施工取付けに関しては、メーカー標準の基礎寸法や、使用材料の規定が必ずしも現地に当てはまるものではありません。性能・機能を発揮するためには、現地の条件に応じた判断と施工が必要です。(堅牢な地盤、軟弱な地盤など現地判断が必要です。)
- 本書の基礎サイズは地耐力を100kN/m²として記載しております。地耐力が異なる場合は基礎サイズが変わるため、カタログ「カーポート建築基準法対応商品」をご参照ください。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

施工上のご注意

注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。
堅樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm) ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m (200±5kgf・cm)
※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

□ 施工上のご注意

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

□ 施工の後に

⚠ 注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

💡 お願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

□ 表示マーク



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



偏心基礎部材を使用して
施工する場合



柱位置を移動して
施工する場合



「縦連棟」を施工する場合



「14延長」を施工する場合



シーリング箇所

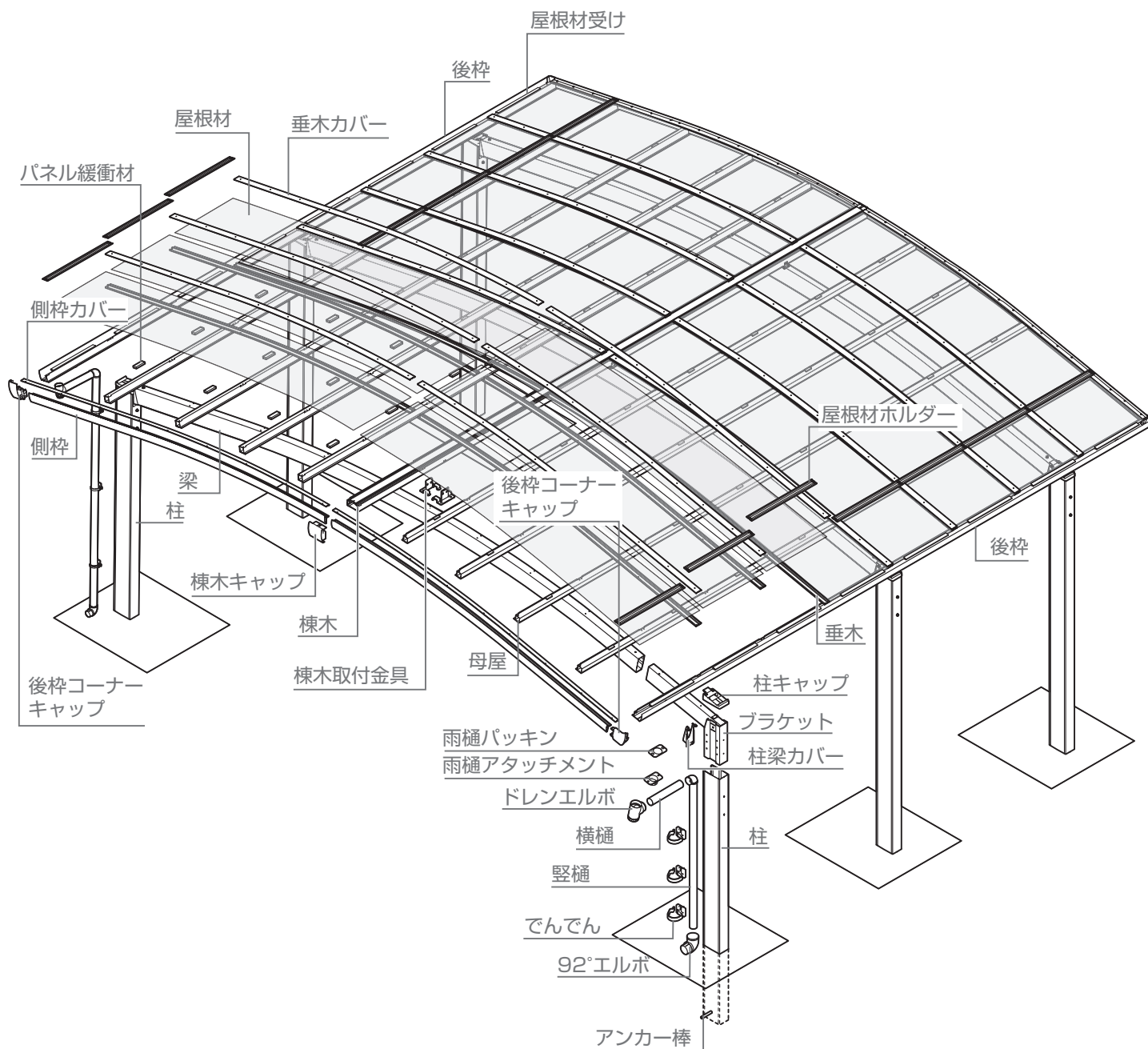


オプション製品

目次

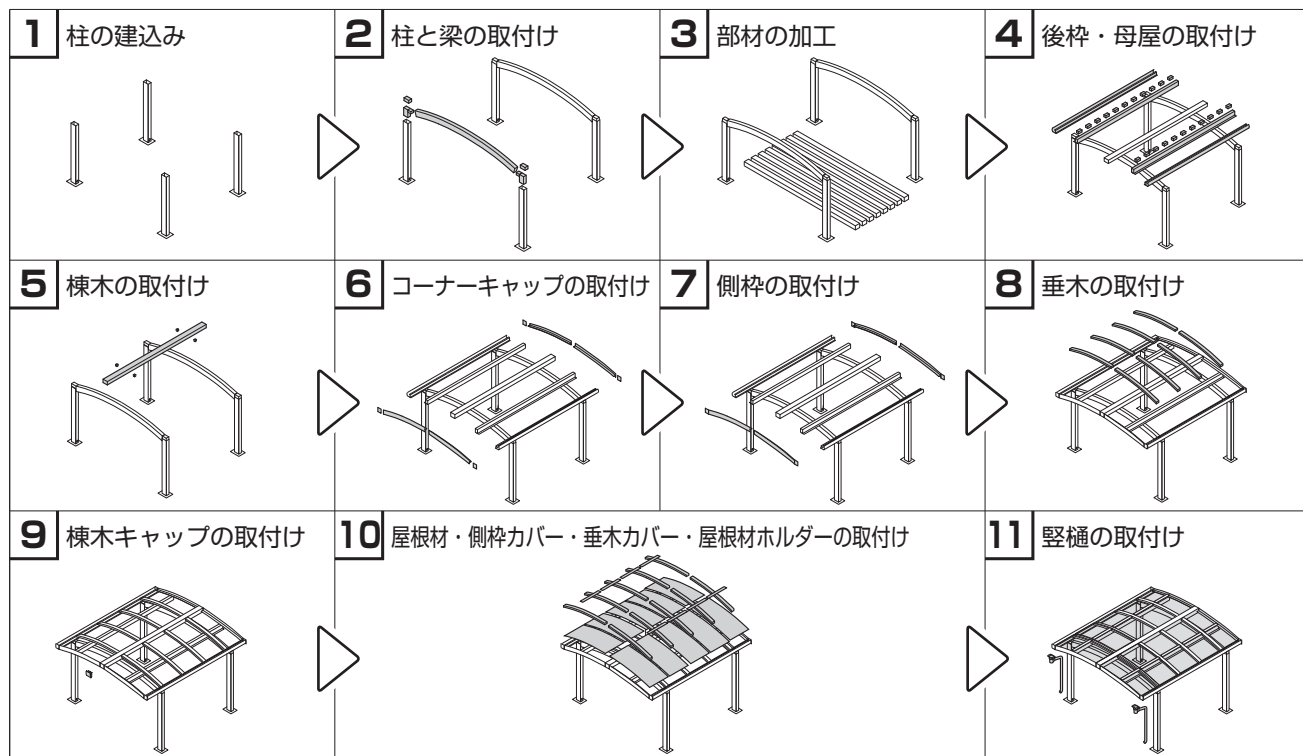
各部名称	4	1-11 側枠の取付け	16
1 基本タイプの施工方法	5	1-12 垂木の取付け	17
1-1 施工の流れ	5	1-13 棟木キャップの取付け	18
1-2 確認事項	6	1-14 屋根材の取付け	19
1-3 基礎寸法の確認	7	1-15 堅樋の取付け	27
1-4 柱の建込み	8	2 連棟タイプの施工方法	28
1-5 柱と梁の取付け	9	2-1 施工の流れ	28
1-6 部材の加工	11	2-2 確認事項	29
1-7 後枠・母屋の取付け	12	2-3 部材の加工	31
1-8 棟木の取付け	13	2-4 部材の取付け	33
1-9 対角寸法の確認	14	梱包明細表	36
1-10 コーナーキャップの取付け	15		

各部名称



1 基本タイプの施工方法

1-1 施工の流れ



1 基本タイプの施工方法

1-2 確認事項

1-2-1 姿図

注意



柱位置を移動して施工の場合

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



縦連棟の場合 14延長の場合



P.29、30 P.29またはP.30も事前に確認してください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補足

- 印は【柱移動】範囲を示します。



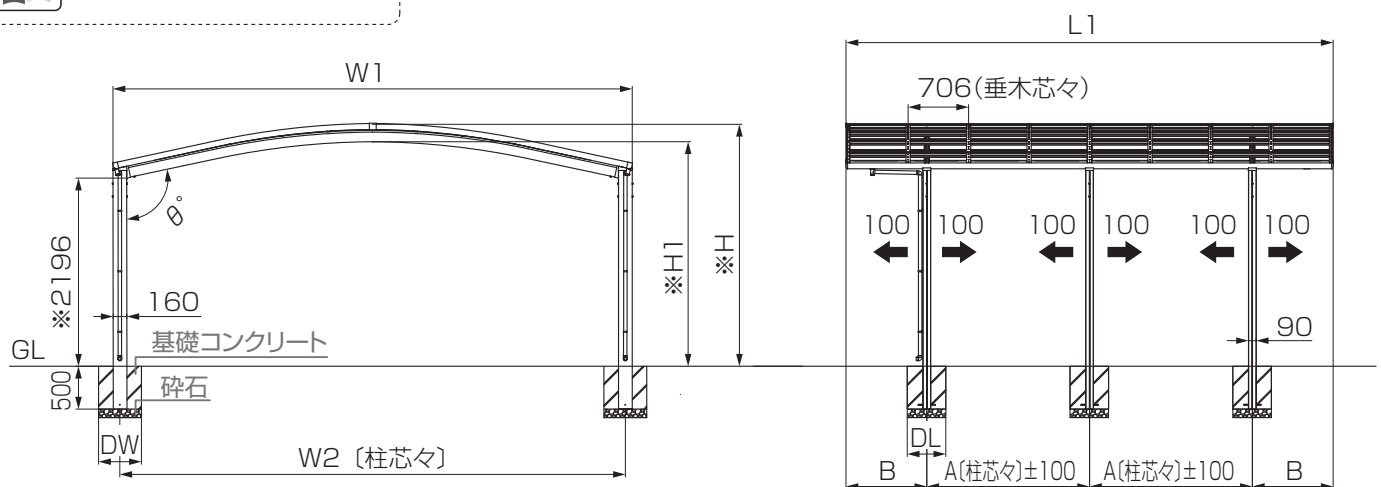
ロング柱の場合

- H寸法(※)に+300してください。



H28柱の場合

- H寸法(※)に+600してください。



間口	W1	W2	※H	※H1	θ°
W48	4830	4670	2645	2442	99°
W54	5434	5274	2693	2490	99°
W60	6053	5893	2807	2604	102°

奥行	L1	A	B
L50	4980	1700	790
L57	5686	1900	943

1-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



基礎寸法数値について

基礎寸法「DW」「DL」は「P.7」を参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

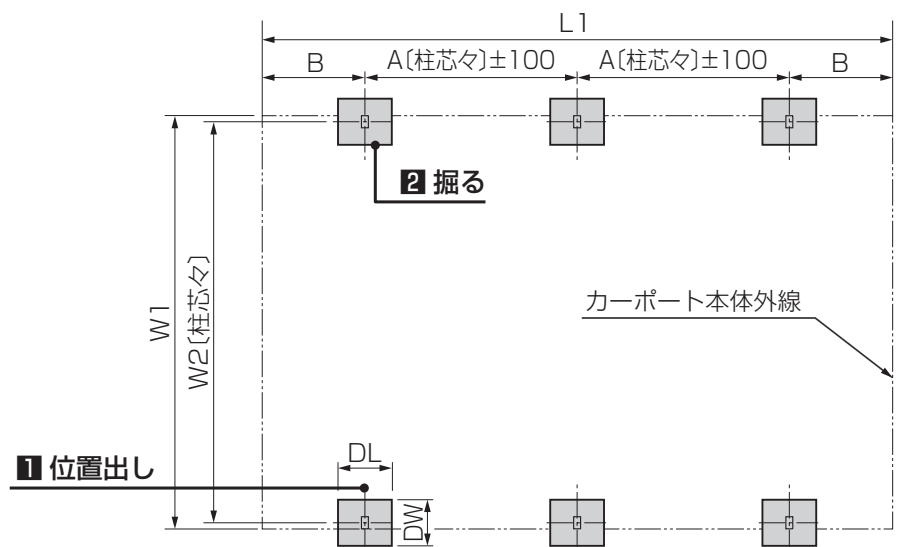
【カーポートライト】

「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」

「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

【コンセントフレーム】

「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」



1 基本タイプの施工方法

1-3 基礎寸法の確認

1-3-1 基礎寸法表

1: 基礎穴寸法を確認する

補 足

- 凍上柱の場合、独立基礎寸法を「DW: 400、DL: 300、埋め込み: 1000」で施工してください。
- 凍上柱の場合、土間併用基礎の対応はできません。

<地耐力100kN/m²の場合>

サイズ (間口)	独立基礎		土間併用基礎	
	DW	DL	DW	DL
W48~W60	500	450	500	450

独立基礎

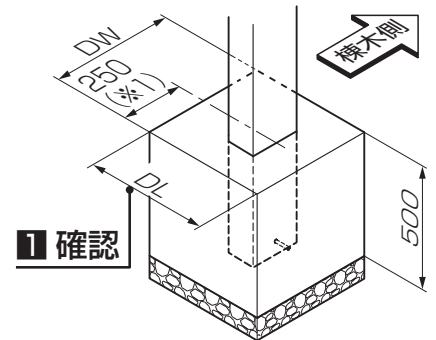


独立基礎
仕上げの場合

1: 基礎穴寸法を確認する

補 足

- (※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。



土間併用基礎

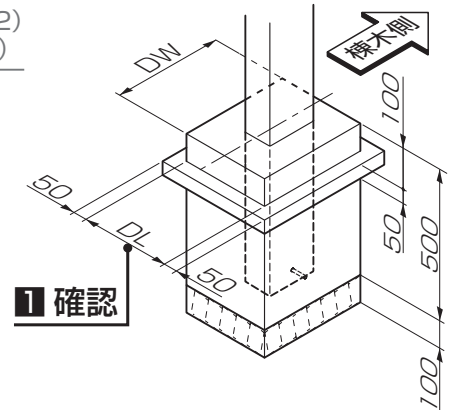
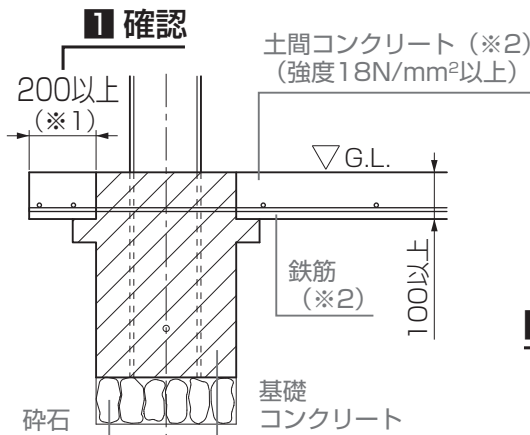


土間コンクリート
仕上げの場合

1: 基礎穴寸法を確認する

お願い

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)



偏芯基礎



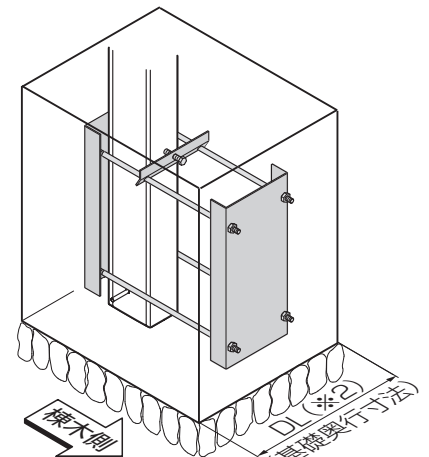
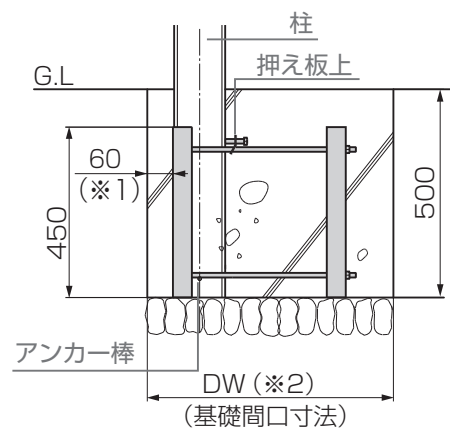
偏芯基礎部材を
取付ける場合

1: 基礎穴寸法と偏芯基礎寸法を確認する

補 足

- (※1)はタテ材Aの外面かた基礎端面の寸法です。
- (※2)は独立基礎と同じ寸法になります。

組立て方法、基本寸法については【偏芯基礎部材 取付説明書(D349)】も参照してください。



1 基本タイプの施工方法

1-4 柱の建込み

1-4-1 柱の建込みの準備

1: 柱にアンカー棒を取付け

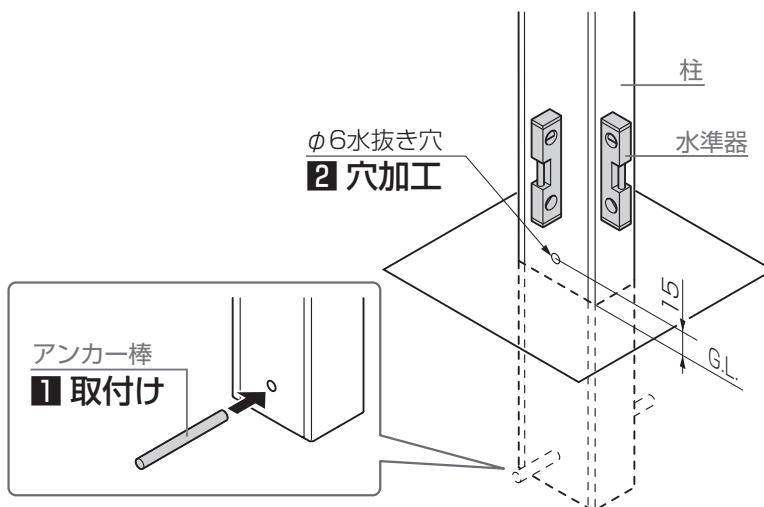
2: 柱にφ6の水抜き穴加工

注意

- 水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

お願い

- 柱の垂直を確認してください。

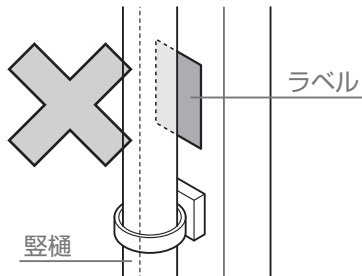


1-4-2 柱の建込み

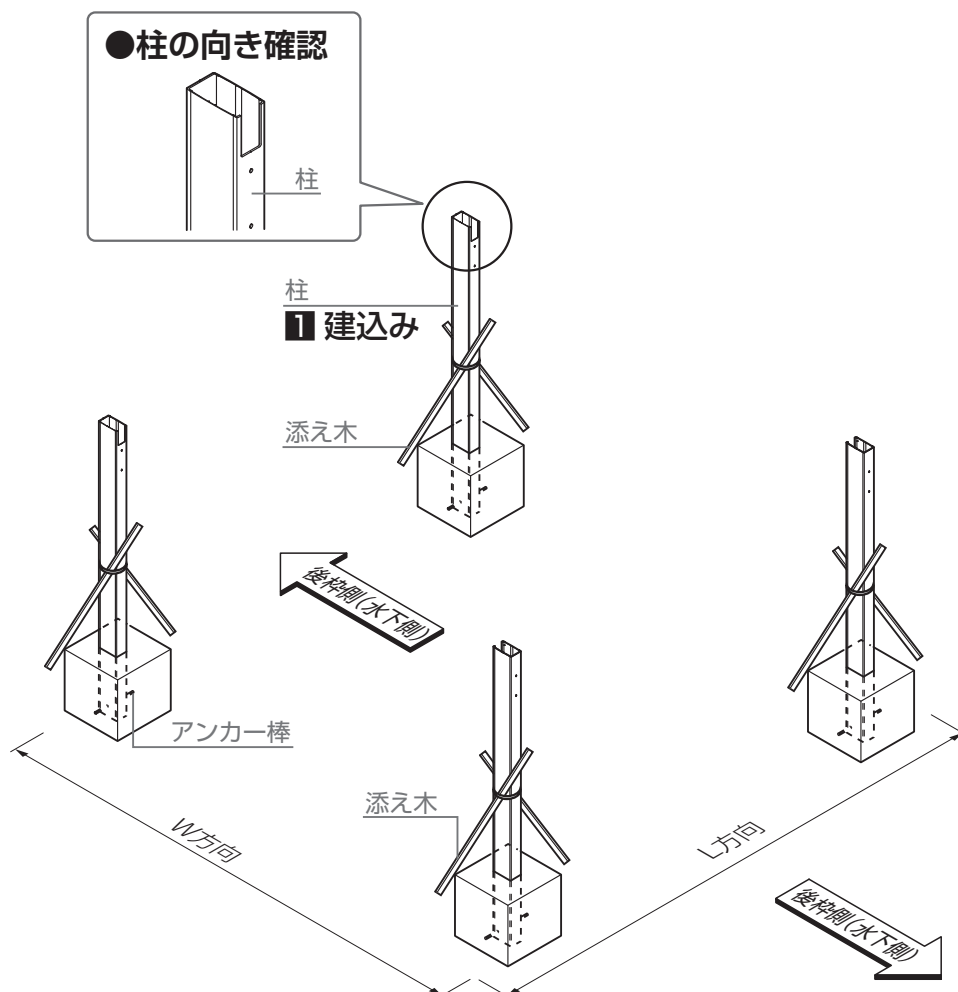
1: 柱を建込み

注意

- 柱を建てこむ際は「使用上の注意」ラベルが、竖樋でかくれないように柱を建込んでください。



- 基本寸法を確認して柱の対角寸法、ピッチ、垂直を確認してください。



1 基本タイプの施工方法

1-5 柱と梁の取付け

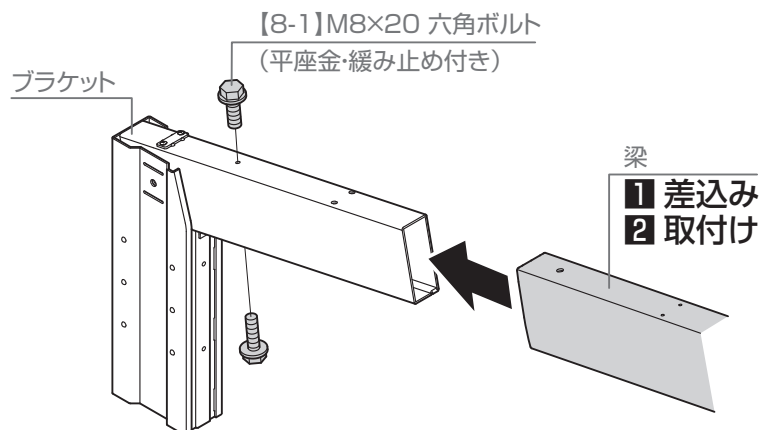
1-5-1 柱と梁の取付け

お願い

- 緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。（締め付け後、約24時間で硬化します。）

1: 梁をブラケットに差込み

2: 梁をブラケットに【8-1】で取付け



3: ブラケットを柱に差込み

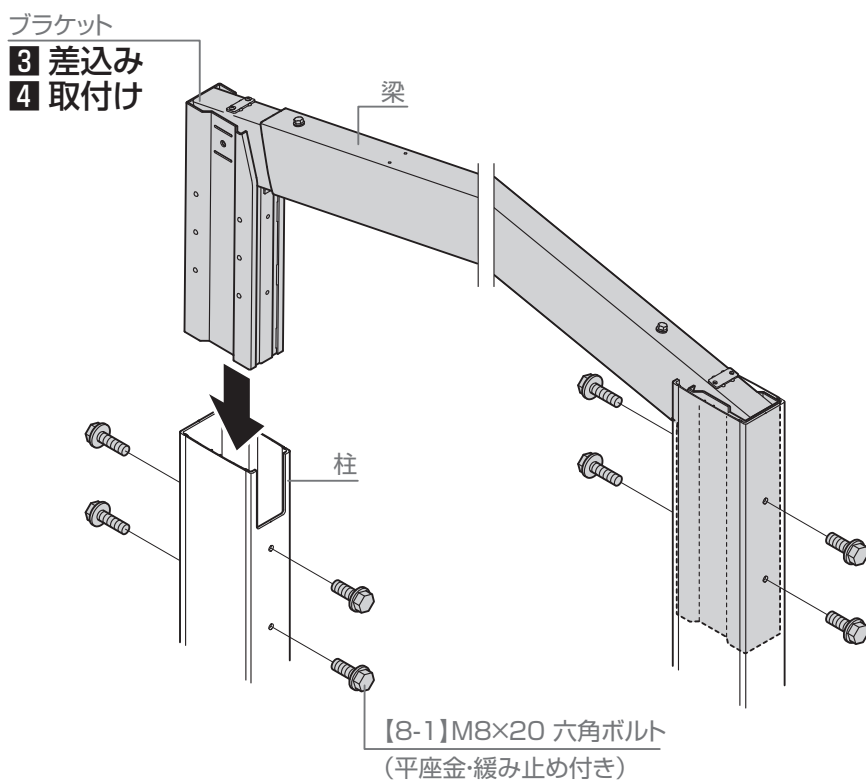
4: ブラケットを柱に【8-1】で取付け



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【物干しセット】

「物干しセット 取付説明書 (D610)」

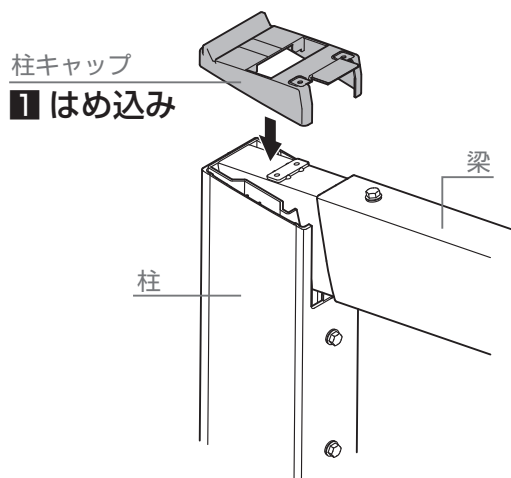


1 基本タイプの施工方法

1-5 柱と梁の取付け

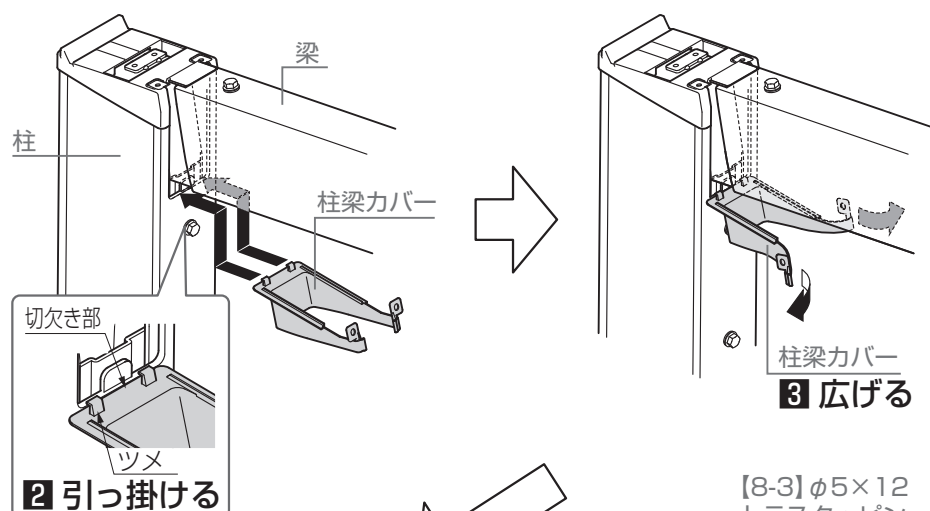
1-5-2 柱キャップの取付け

❶: 柱キャップを柱にはめ込み



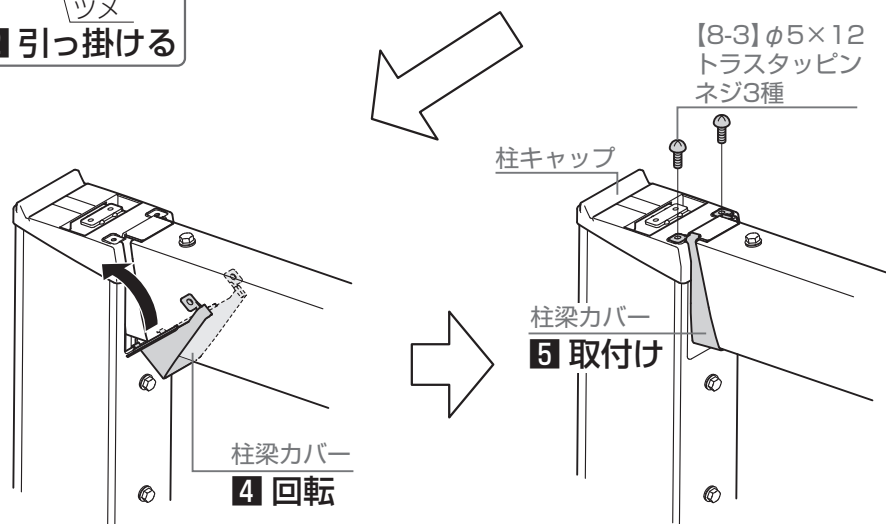
❷: 柱梁カバーのツメを柱の切欠き部に引っ掛ける

❸: 柱梁カバーを広げる



❹: 柱梁カバーを回転させる

❺: 柱梁カバーを柱キャップに【8-3】で取付け



補足

- 柱キャップと柱梁カバーを寄せ合いながら取付けてください。
- この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタツキます。

1-6 部材の加工

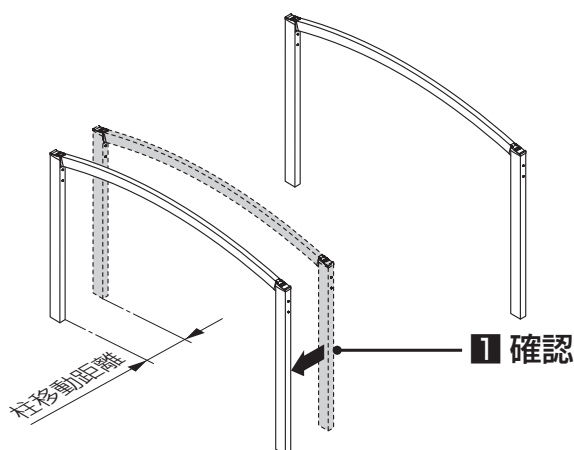


▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

1: 柱移動距離を確認

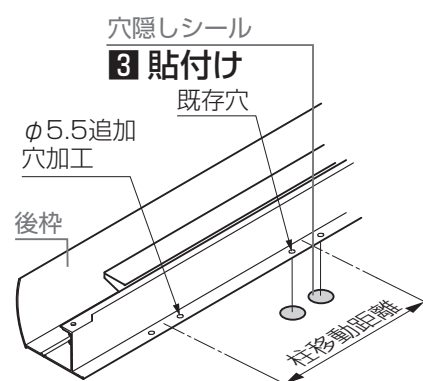
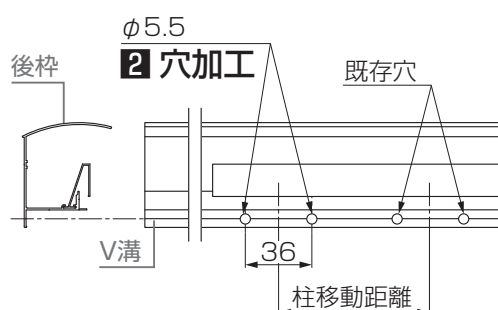
お願い

- 柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。



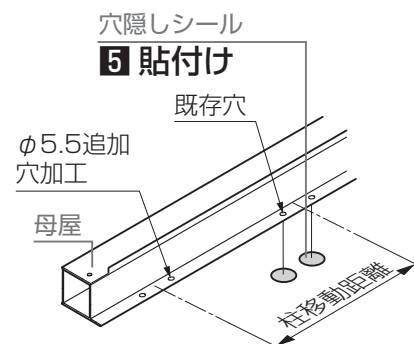
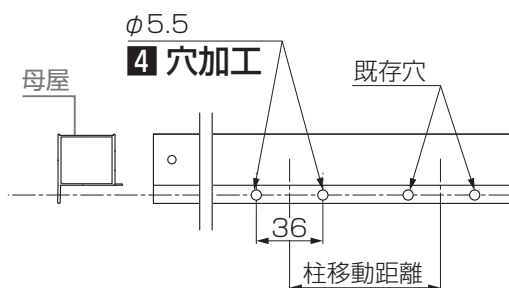
2: 後枠にφ5.5の穴加工

3: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



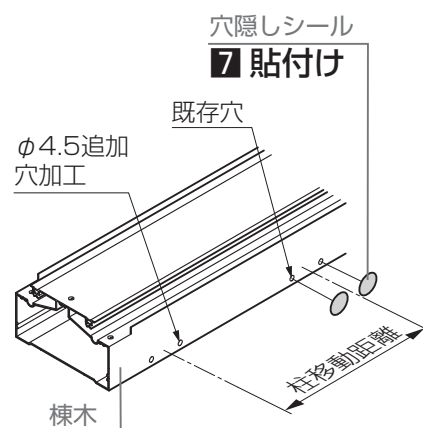
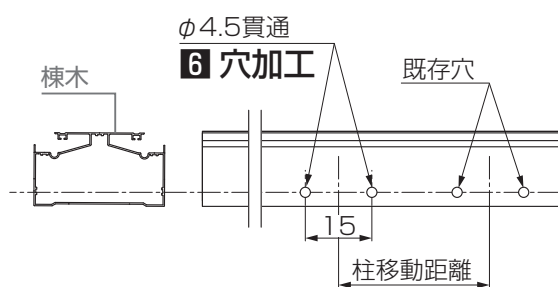
4: 母屋にφ5.5の穴加工

5: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



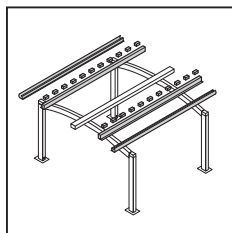
6: 棟木にφ4.5の穴加工

7: 既存穴に穴隠しシールを貼り付け



1 基本タイプの施工方法

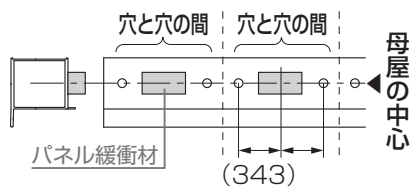
1-7 後枠・母屋の取付け



1: パネル緩衝材を母屋に貼付け

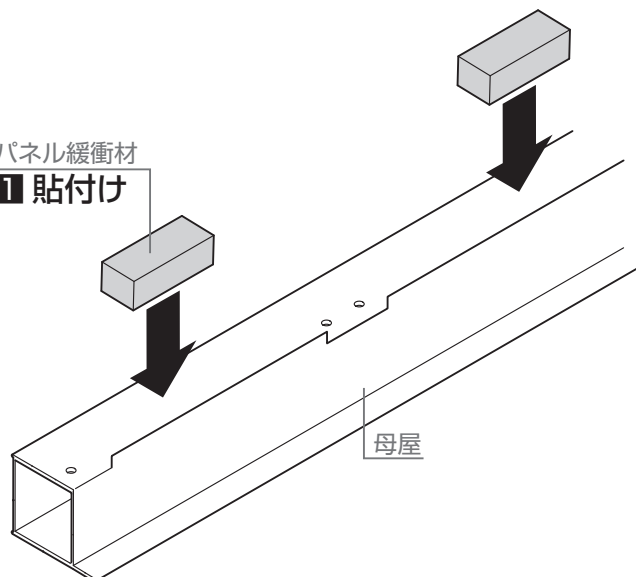
お願い

- パネル緩衝材は下図の位置に貼付けてください。



パネル緩衝材

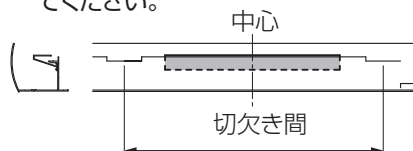
1 貼付け



2: 後枠を柱キャップに【8-3】で取付け

お願い

- 屋根材受けを下図の位置に移動させてください。



【8-3】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

【8-3】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

後枠

2 取付け

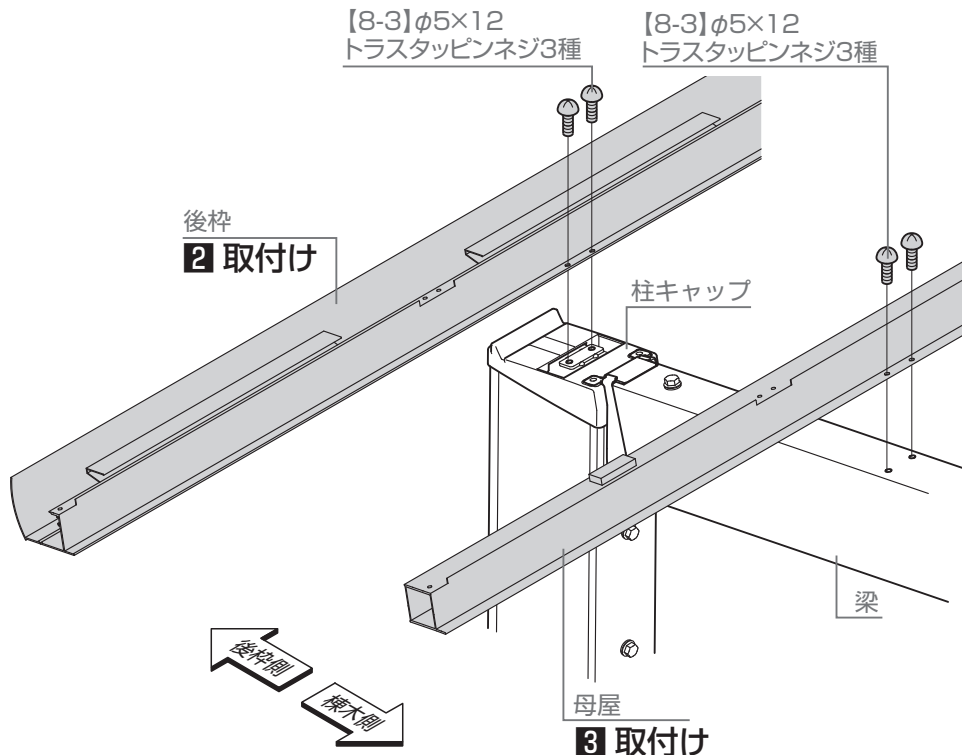
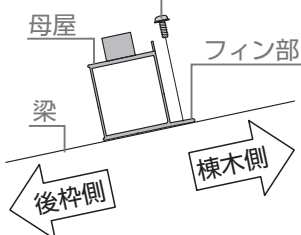
柱キャップ

3: 母屋を梁に【8-3】で取付け

お願い

- 母屋のフィンは、棟木側に向けてください。

【8-3】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



3 取付け

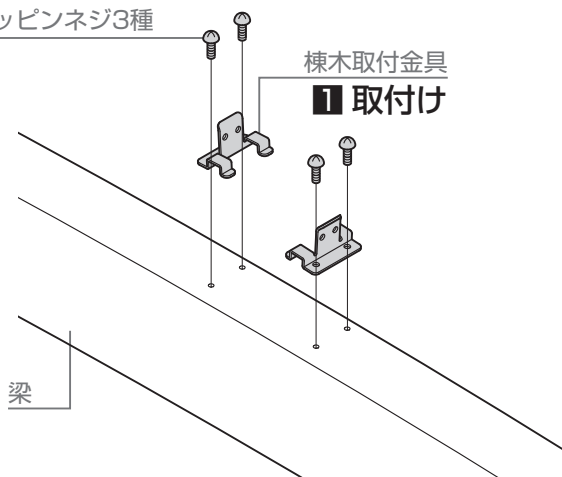
1 基本タイプの施工方法

1-8 棟木の取付け

❶: 棟木取付金具を梁に【8-3】で取付け

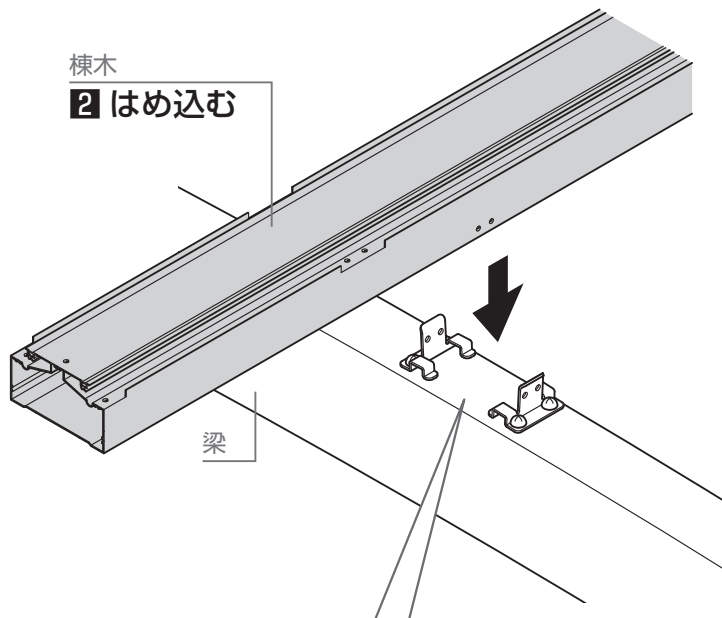
【8-3】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

棟木取付金具
❶ 取付け



❷: 棟木を棟木取付金具にはめ込む

棟木
❷ はめ込む



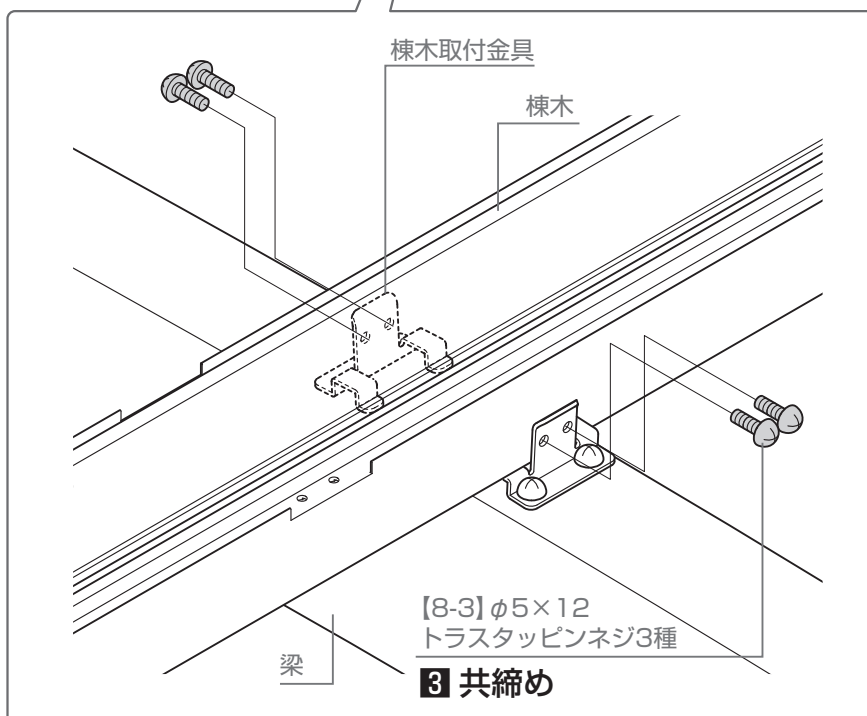
❸: 棟木と棟木取付金具を【8-3】で共締め

棟木取付金具

棟木

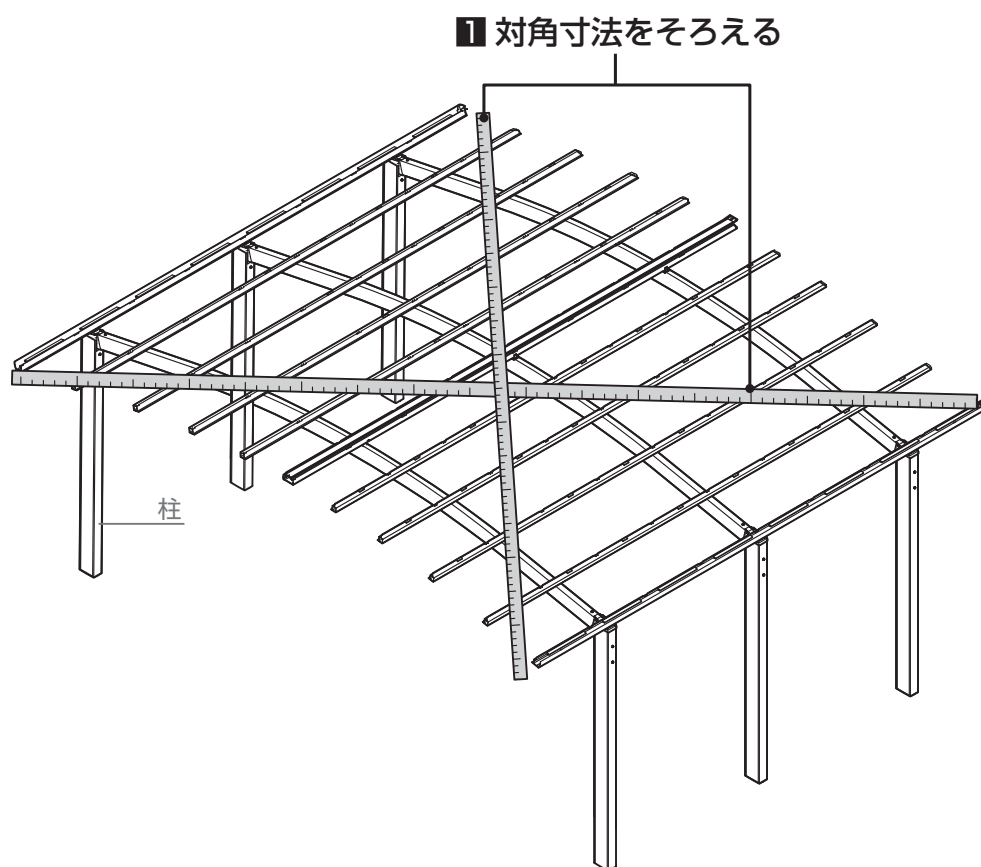
【8-3】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

❸ 共締め



1-9 対角寸法の確認

1: 屋根枠まわりの対角寸法をそろえる



1 基本タイプの施工方法

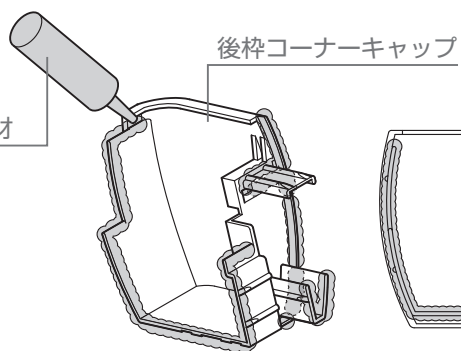
1-10 コーナーキャップの取付け

- 1: 後枠コーナーキャップにシーリングを塗布



シーリング材

1 塗布

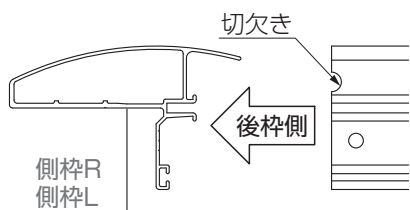


●後枠挿入面 ●側枠挿入面

- 2: 後枠コーナーキャップを側枠にはめ込み

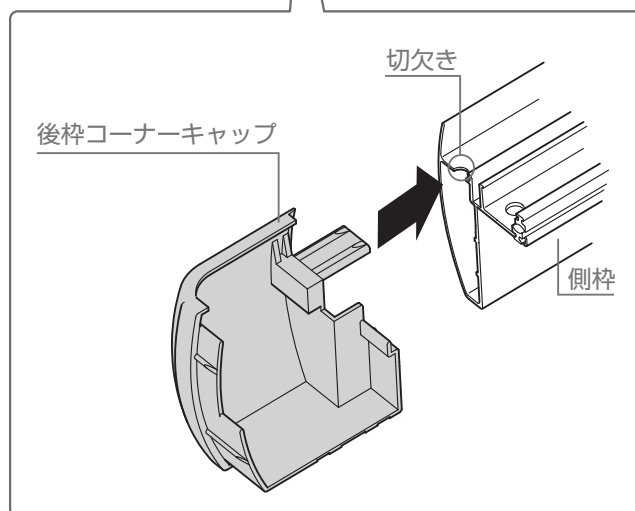
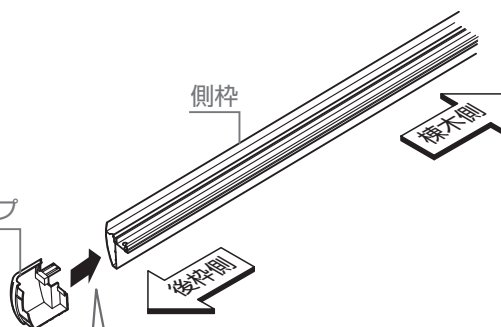
お願い

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。



後枠コーナーキャップ

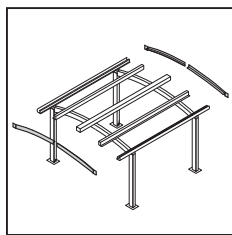
2 はめ込み



1 基本タイプの施工方法

1-11 側枠の取付け

1-11-1 側枠の取付け



お願い

- ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



ネジの浮き



ネジの
浮き・傾きなし



ネジの傾き

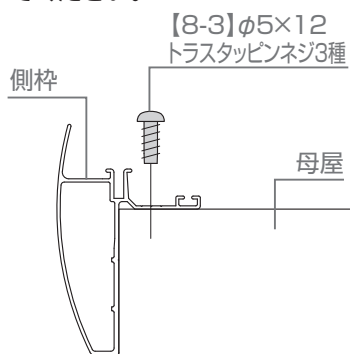
- 1: 側枠を後枠に差込み

- 2: 側枠を後枠に【8-3】で取付け

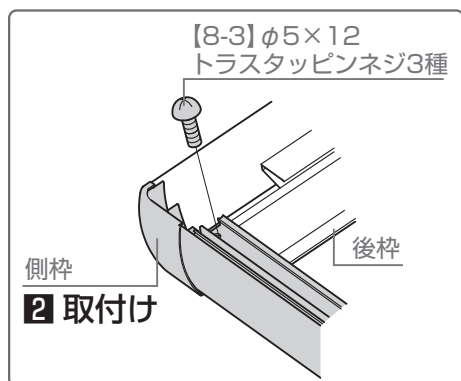
- 3: 側枠を母屋に【8-3】で取付け

補足

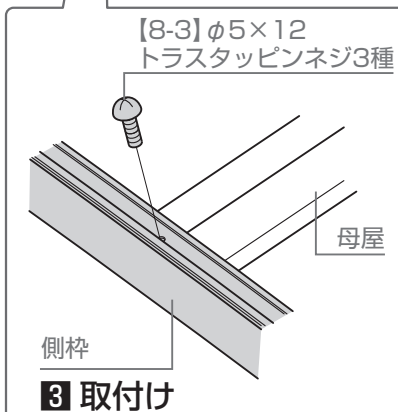
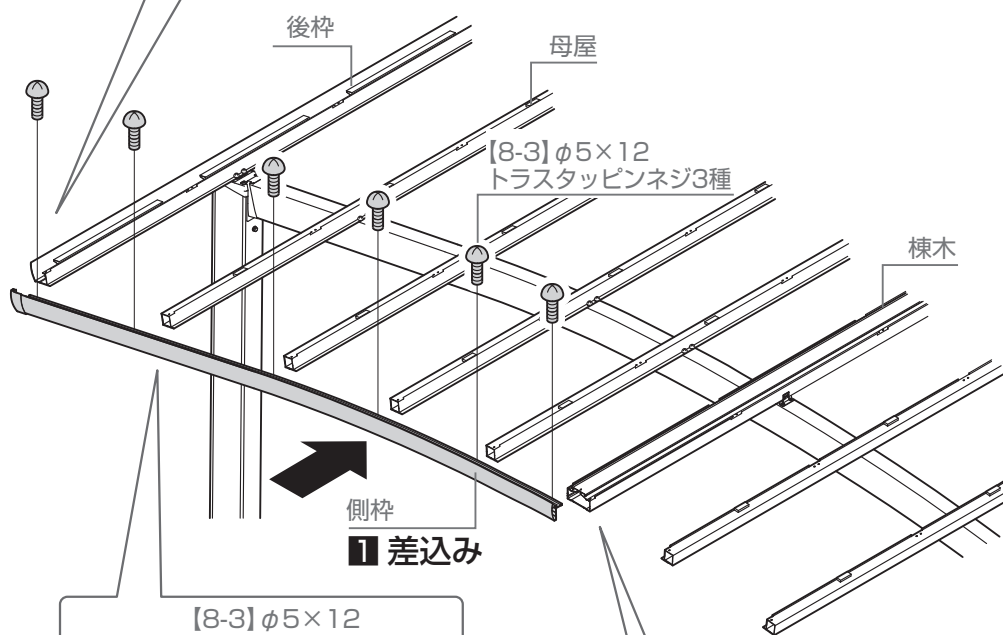
- 母屋は側枠の下に設置して取付けてください。



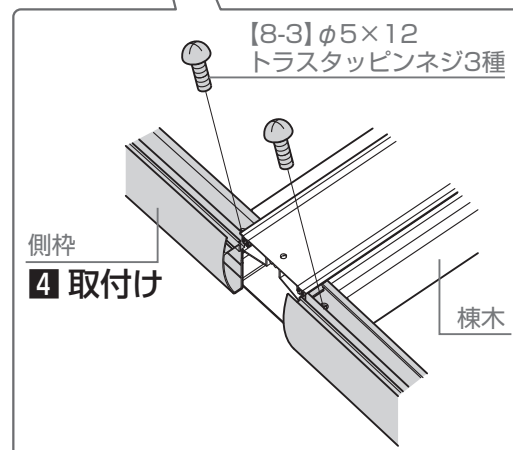
- 4: 側枠を棟木に【8-3】で取付け



2 取付け



3 取付け



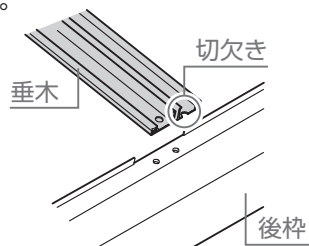
4 取付け

1 基本タイプの施工方法

1-12 垂木の取付け

お願い

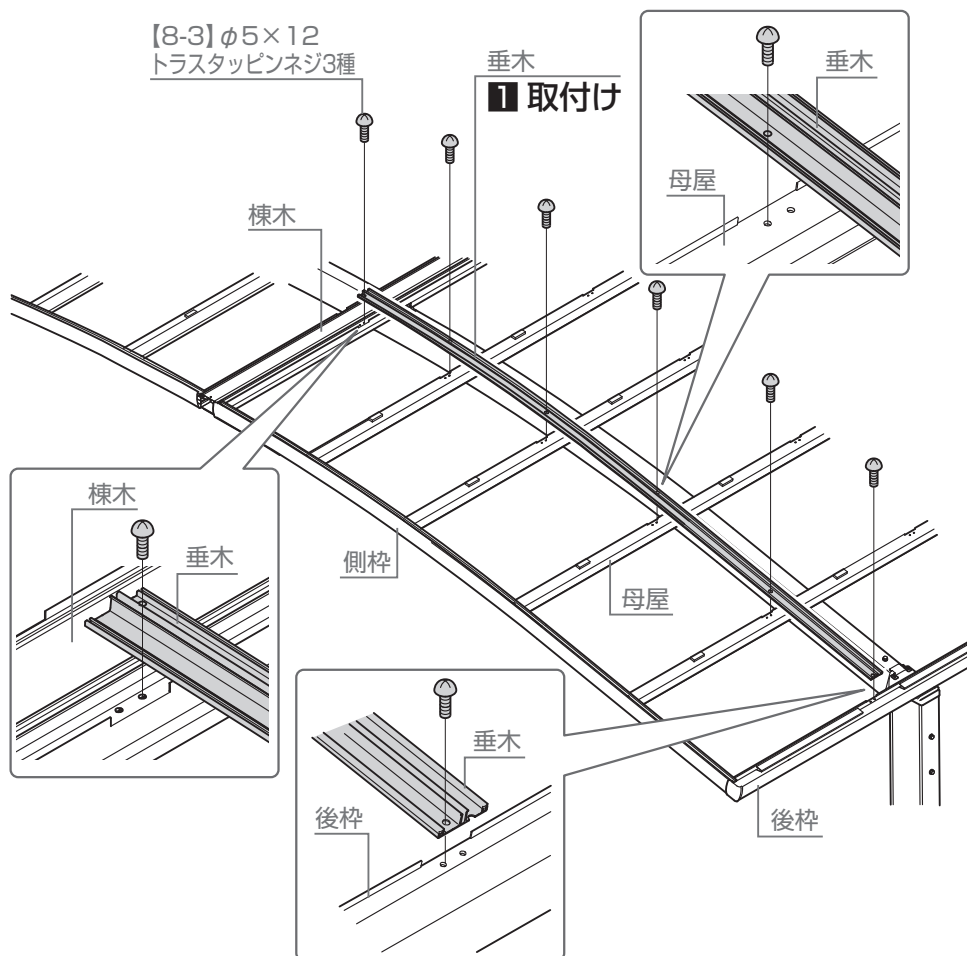
- 垂木の切欠きを後枠側にしてください。



- 1: 垂木を棟木・後枠・母屋に【8-3】で取付け

お願い

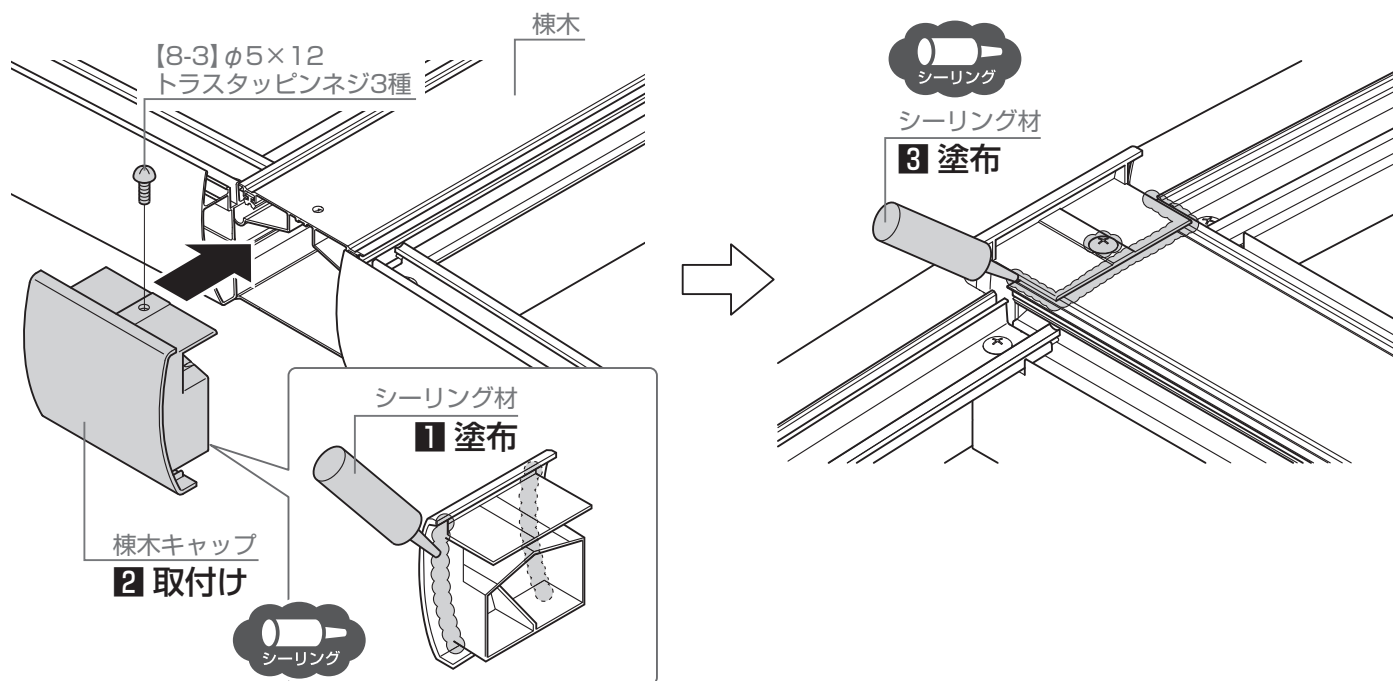
- ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



1 基本タイプの施工方法

1-13 棟木キャップの取付け

- 1: 棟木キャップにシーリングを塗布
- 2: 棟木キャップを棟木に【8-3】で取付け
- 3: 棟木キャップと棟木の接合部と【8-3】のネジ頭にシーリングを塗布



1 基本タイプの施工方法

1-14 屋根材の取付け

1-14-1 屋根材の取付け順番の確認

お願い

●屋根材1枚セットする度に、垂木カバーと屋根材ホルダーのかみ合わせ部を施工してください。

P.23 屋根材ホルダーの取付位置の詳細は【P.23】を参照してください。

1.屋根材の取付け(1枚目と2枚目)	2.側枠カバーと垂木カバー(1本目)の取付け	3.屋根材ホルダーの取付け(1スパン目)	4.屋根材ホルダーの取付け(2スパン目)
 P.20	 P.21	 P.23	 P.23
5.屋根材の取付け(3枚目)	6.垂木カバーの取付け(2本目)	4～6を繰り返す	
 P.25	 P.25		
7. 片側完成	8. 反対側を組付ける	9. 完成	

お願い

●屋根材は必ず手順に従って施工してください。

1 基本タイプの施工方法

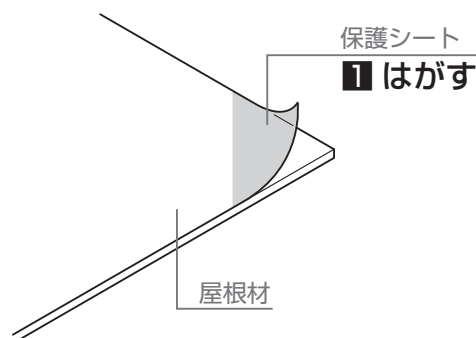
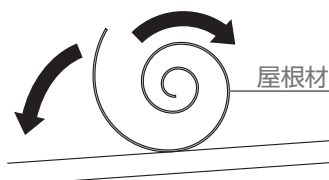
1-14 屋根材の取付け

1-14-2 屋根材の取付け(1枚目と2枚目)

1: 屋根材の保護シートをはがす

お願い

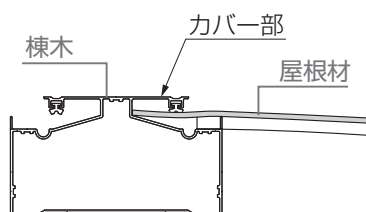
- 屋根材は表裏を確認し、取付けてください。
- 屋根材は屋根部の上で下記のように広げてください。



2: 屋根材を棟木に差込む

お願い

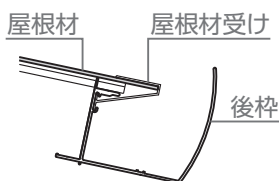
- 棟木のカバー部に屋根材を差込んでください。



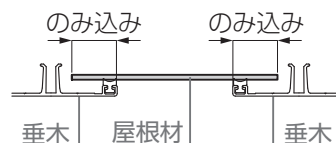
3: 屋根材を後枠の屋根材受けに突き当て

お願い

- 屋根材は屋根材受けに突き当ててください。

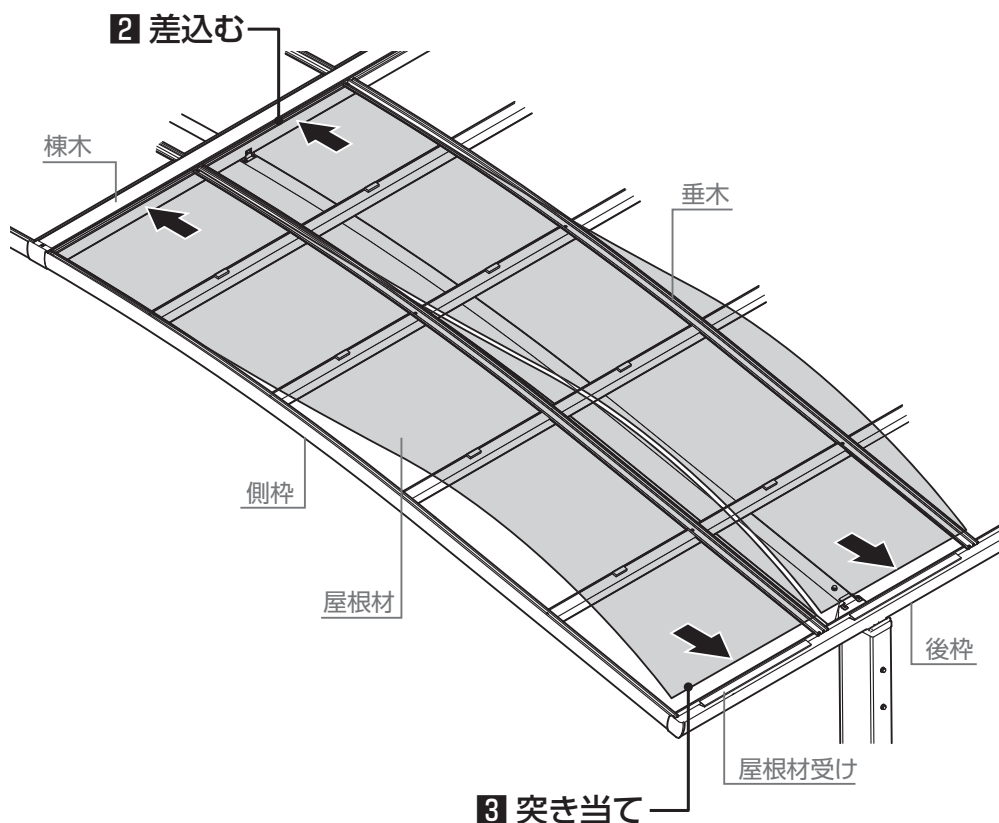


- 垂木部へののみ込み寸法は、左右均等にしてください。



補足

- 反対側の屋根材も同様の手順で取付けてください。



1 基本タイプの施工方法

1-14 屋根材の取付け

1-14-3 側枠カバーと垂木カバー（1本目）の取付け

❶: 側枠カバーを側枠に【8-3】で取付け

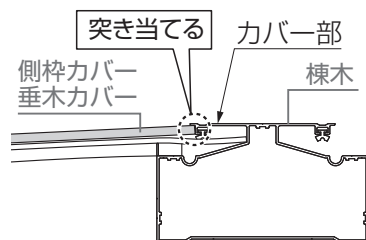
❷: 垂木カバーを垂木に【8-3】で取付け

お願い

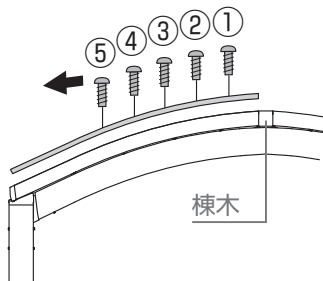
- 取付けの際はネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



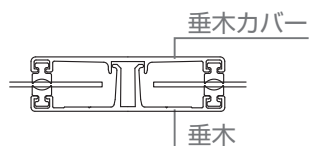
- 棟木に突き当てて取付けてください。



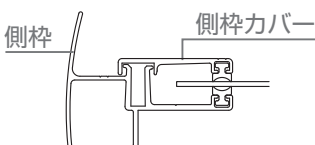
- 【8-3】は棟木側から取付けてください。



- 垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。

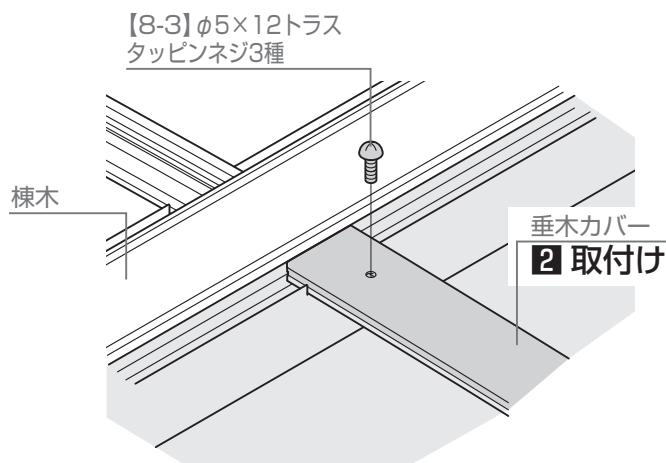
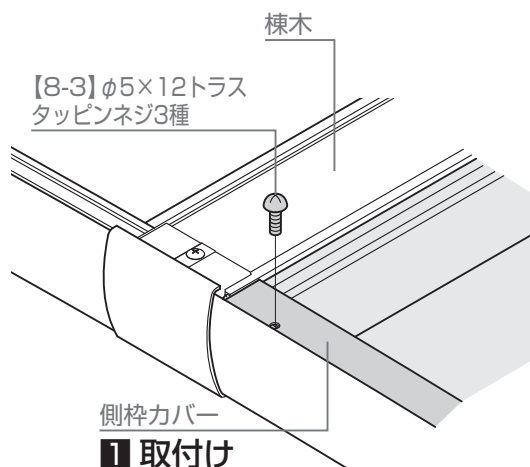
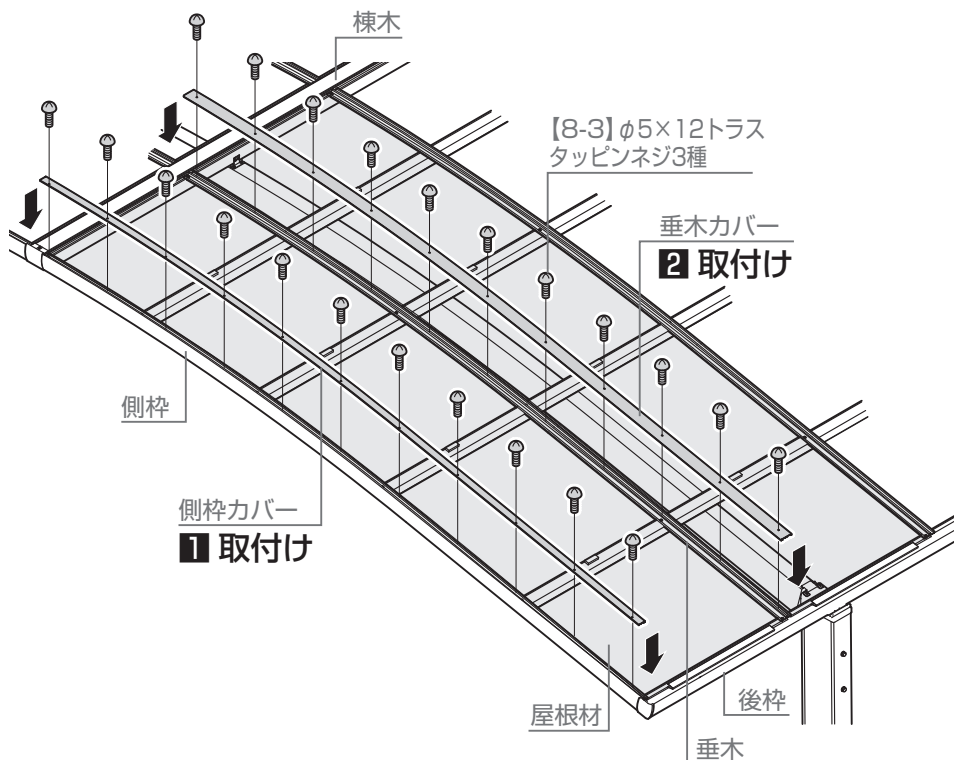


- 側枠と側枠カバーがかみ合っていることを確認してください。



補足

- 反対側の垂木カバーと側枠カバーも同様の手順で取付けてください。



1 基本タイプの施工方法

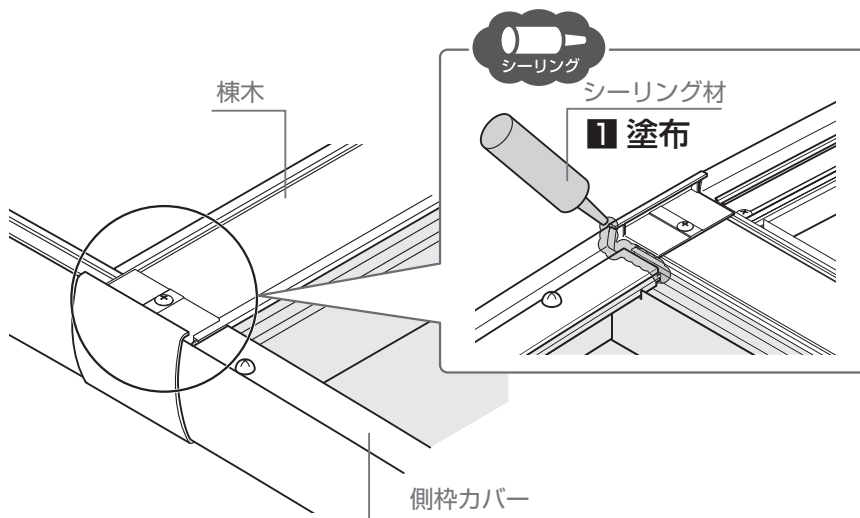
1-14 屋根材の取付け

1-14-4 側枠カバーと垂木カバー(1本目)のシーリング

- 1: 側枠カバーと棟木接合部にシーリングを塗布

お願い

- ビードの端部はシーリングが浮きやすいので注意してください。



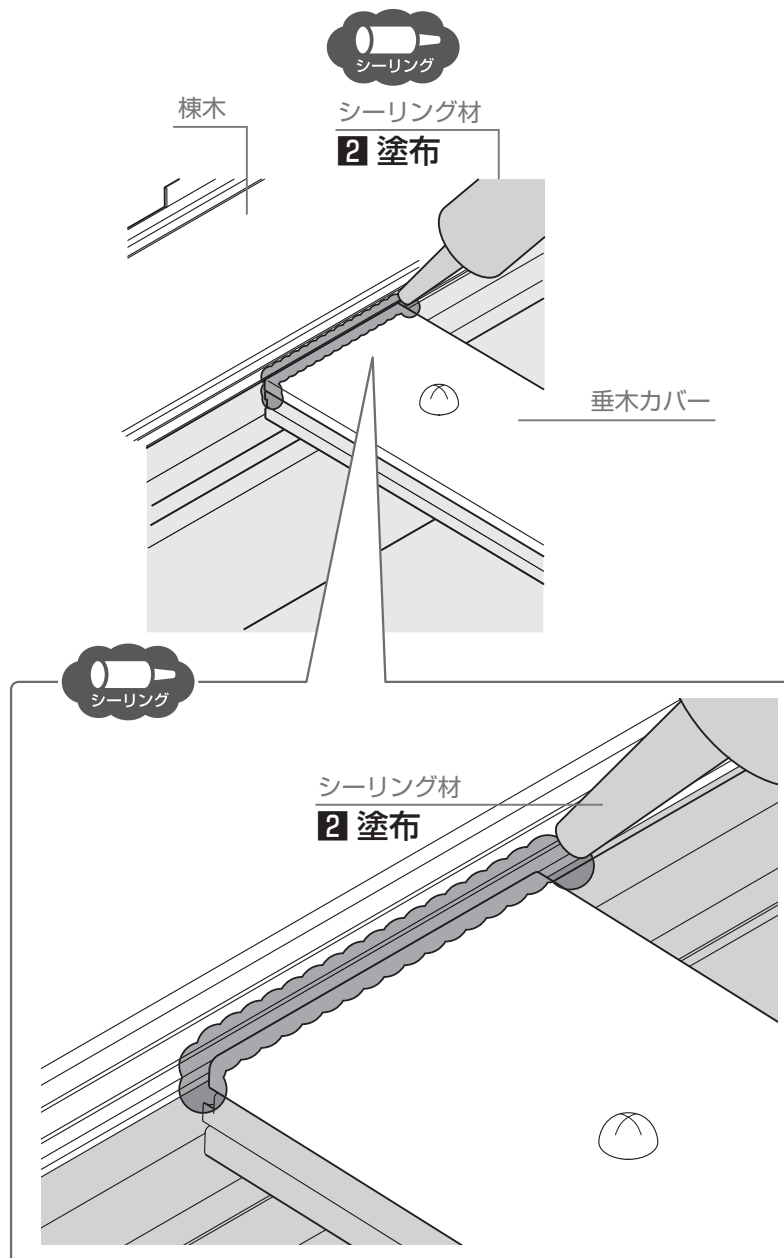
- 2: 垂木カバーと棟木接合部にシーリングを塗布

お願い

- シーリングはヘラ等で確実に押さえてください。
- パネルまでシーリングが届いているようにしてください。

補足

- 反対側も同様の手順でシーリングしてください。



1 基本タイプの施工方法

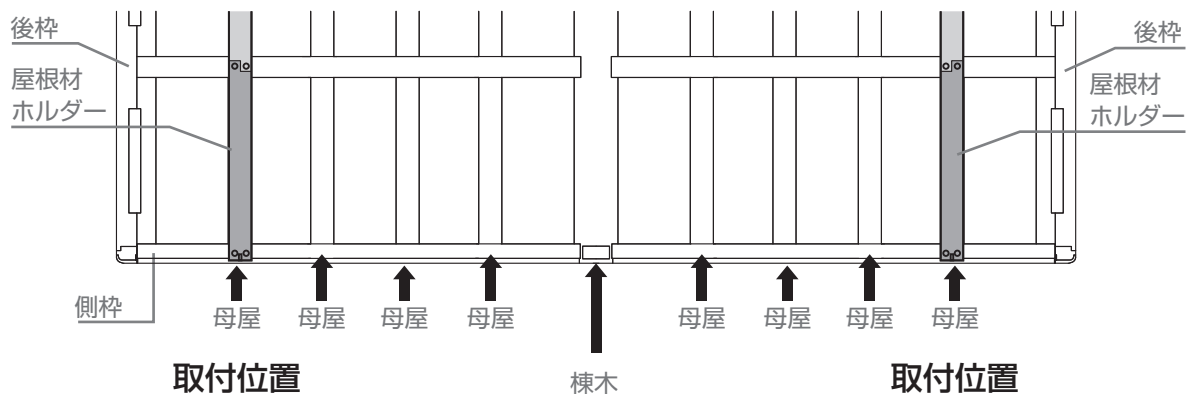
1-14 屋根材の取付け

1-14-5 屋根材ホルダー取付け

1: 屋根材ホルダーの取付け位置を確認

お願い

●屋根材ホルダーは後枠側から数えて1本目の母屋の真上の位置に設置するようにしてください。(全サイズ共通)



2: 屋根材ホルダーを側枠に【16-1】で取付け

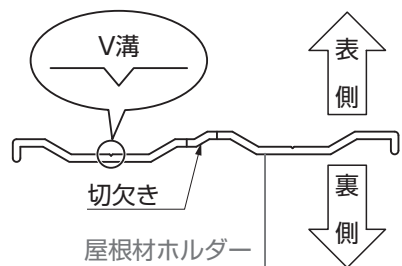
補足

●側枠カバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。

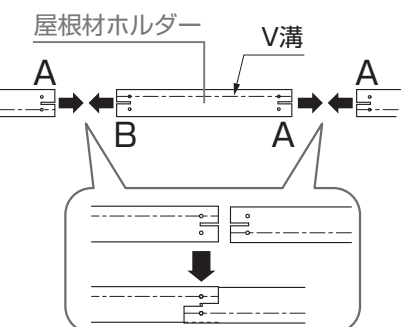
3: 屋根材ホルダーをすでに取付けている屋根材ホルダーに差込み

お願い

●屋根材ホルダーの表裏に注意してください。



●2本目以降の取付けは、V溝を点対称の位置にして組付けてください。



●1スパン目

【16-1】φ5×13
ナベドリルネジ

屋根材ホルダー
2 取付け

側枠カバー

補足

●こちら側は接続する屋根材ホルダーと共締めになります。

●2スパン目以降

屋根材ホルダー
3 差込み

垂木カバー

すでに
取付けている
屋根材ホルダー

V溝

V溝

1 基本タイプの施工方法

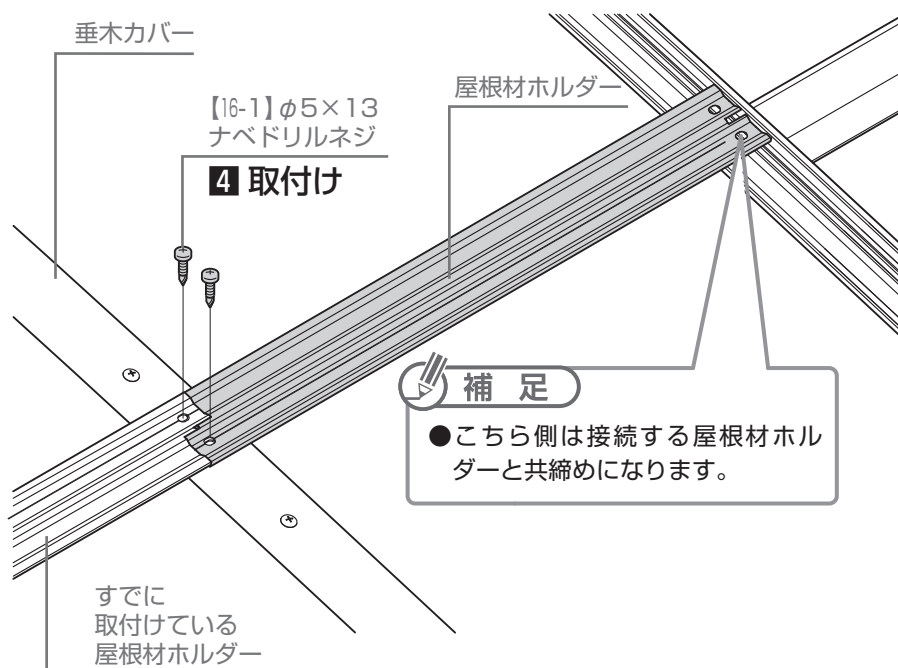
1-14 屋根材の取付け

1-14-5 屋根材ホルダー取付け

4: 屋根材ホルダーと垂木カバーを
【16-1】で取付け

お願い

- 以降の屋根材ホルダーは繰り返しの手順で取付けてください。



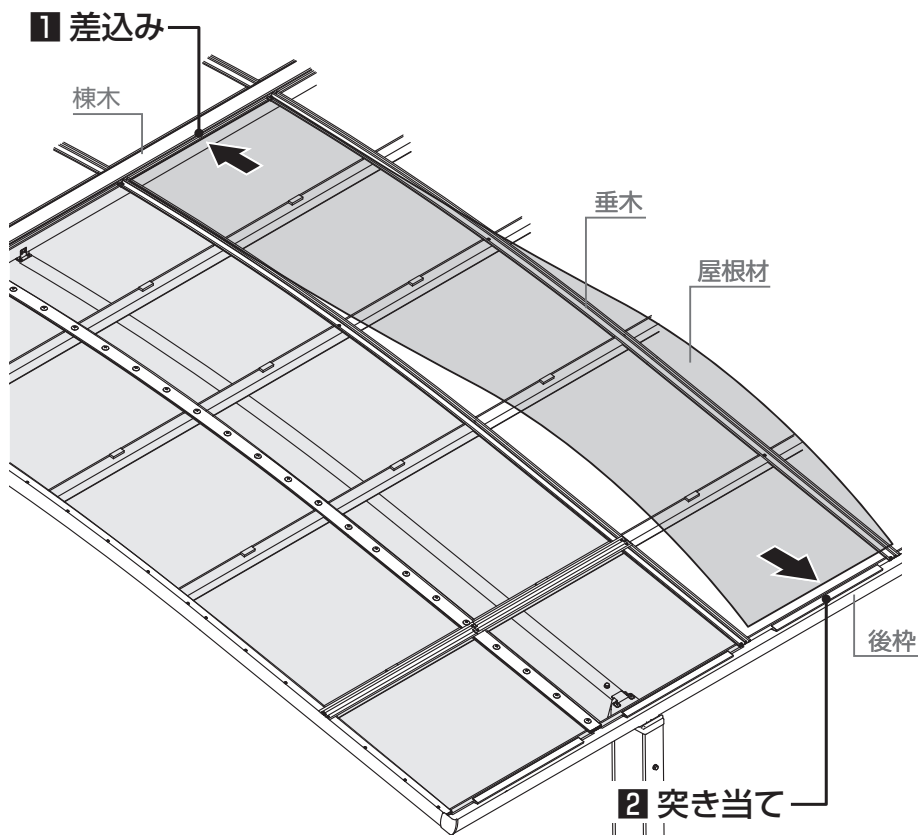
1 基本タイプの施工方法

1-14 屋根材の取付け

1-14-6 屋根材の取付け（3枚目）

P.20 基本的に屋根材の取付けは1枚目と同様です。詳細に関しては【P.20】を参照してください。

- 1: 屋根材を棟木に差込み
- 2: 屋根材を後枠の屋根材受けに突き当て



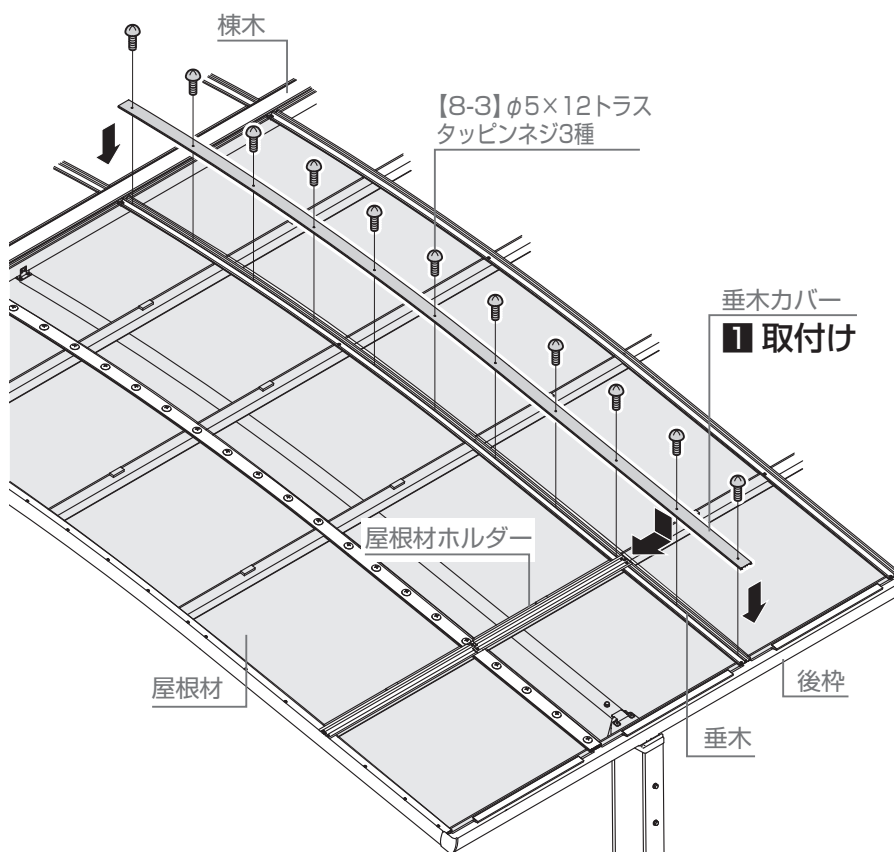
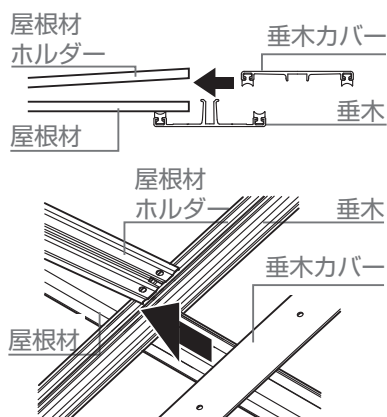
1-14-7 垂木カバーの取付け（2本目）

- 1: 垂木カバーを垂木に【8-3】で取付け

P.21 垂木カバーの取付けは1本目と同様です。詳細に関してはP.21を参照してください。

お願い

- 屋根材カバーを持ち上げて垂木カバーをはめ込んでください。



1 基本タイプの施工方法

1-14 屋根材の取付け

1-14-8 垂木カバー（2本目）のシーリング

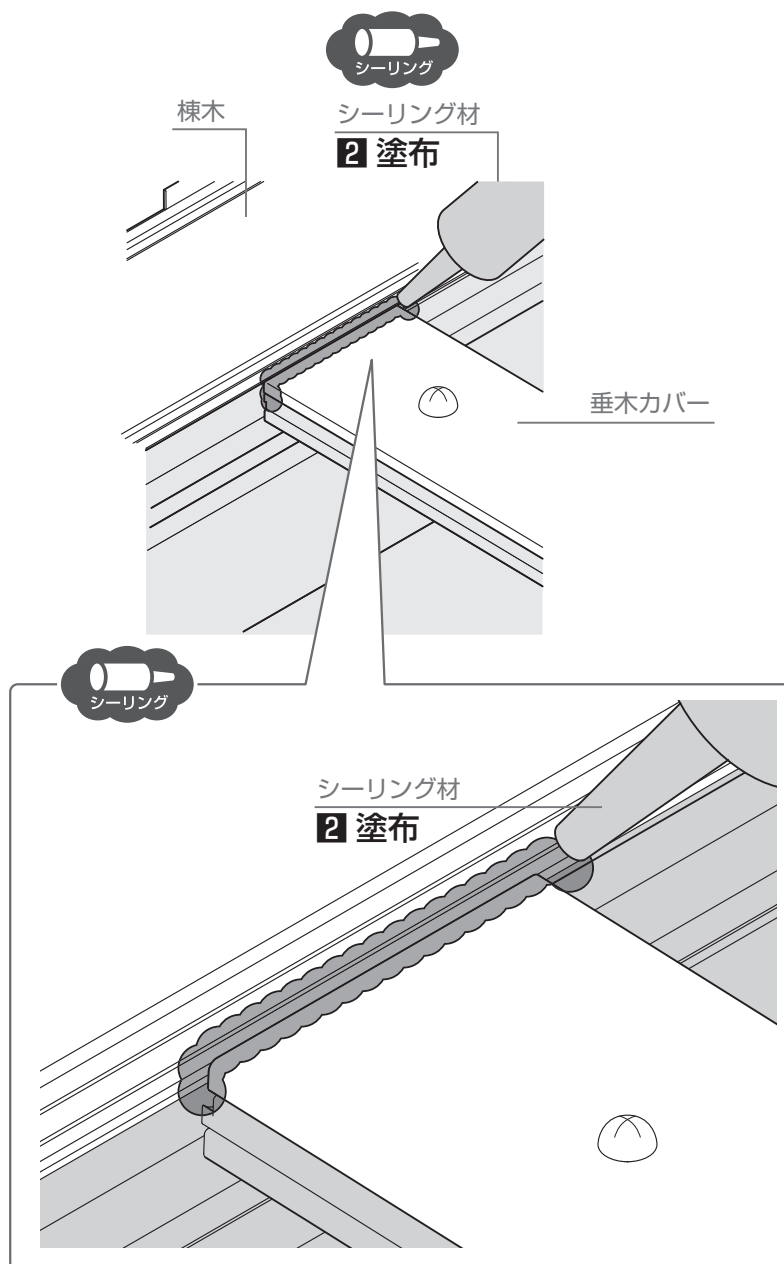
1: 垂木カバーと棟木接合部にシーリングを塗布

お願い

- シーリングはヘラ等で確実に押さえてください。
- パネルまでシーリングが届いているようにしてください。

補足

- 反対側も同様の手順でシーリングしてください。



1-14-9 以降の施工について

お願い

- 以降は以下の手順を繰り返し屋根材を取付けてください。

4. 屋根材ホルダーの取付け (2スパン目)	5. 屋根材の取付け (3枚目)	6. 垂木カバーの取付け (2本目)
 P.23	 P.25	 P.25

1 基本タイプの施工方法

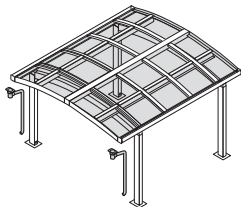
1-15 縦樋の取付け



スマート雨樋の取付けの場合は、【スマート雨樋 取付説明書(D608)】も参照してください。

補足

●縦樋は左側と右側の柱に取り付けます。



1: 縦樋を切断

お願い



▼ 柱位置を移動して
施工の場合

●柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

2: 雨樋パッキンと雨樋アタッチメントを後枠の水抜き穴に【8-3】で取付け

3: 雨樋穴ふさぎキャップと雨樋パッキンを後枠の水抜き穴に【8-3】で取付け

お願い

●使用しない水抜き穴は雨樋穴ふさぎキャップを取付けて塞いでください。

4: 【8-3】のネジ先にシーリングを塗布

5: でんでんを柱に【8-2】で取付け

6: 雨樋アタッチメントに接着剤を塗布

7: ドレンエルボを雨樋アタッチメントに取り付け

8: ドレンエルボ、92°エルボ、縦樋に接着剤を塗布

9: 横樋をドレンエルボにはめ込み

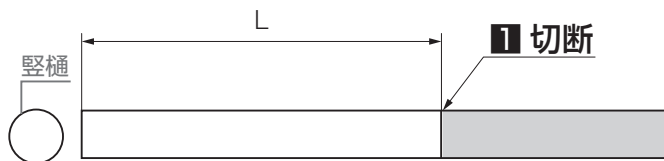
10: 92°エルボを横樋にはめ込み

11: 縦樋を92°エルボにはめ込み

12: 92°エルボを縦樋にはめ込み

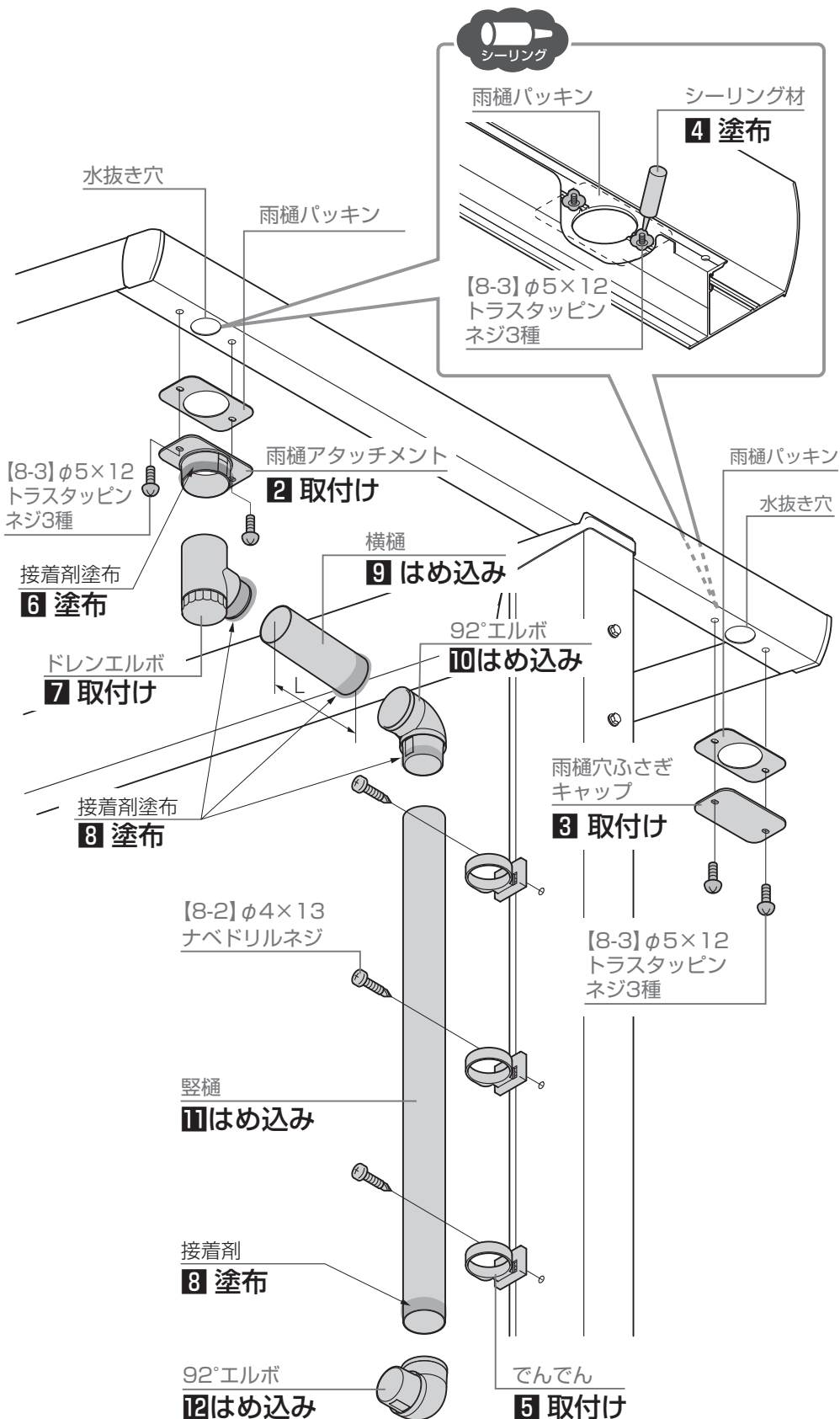
お願い

●反対側も同様の手順で縦樋を取付けてください。



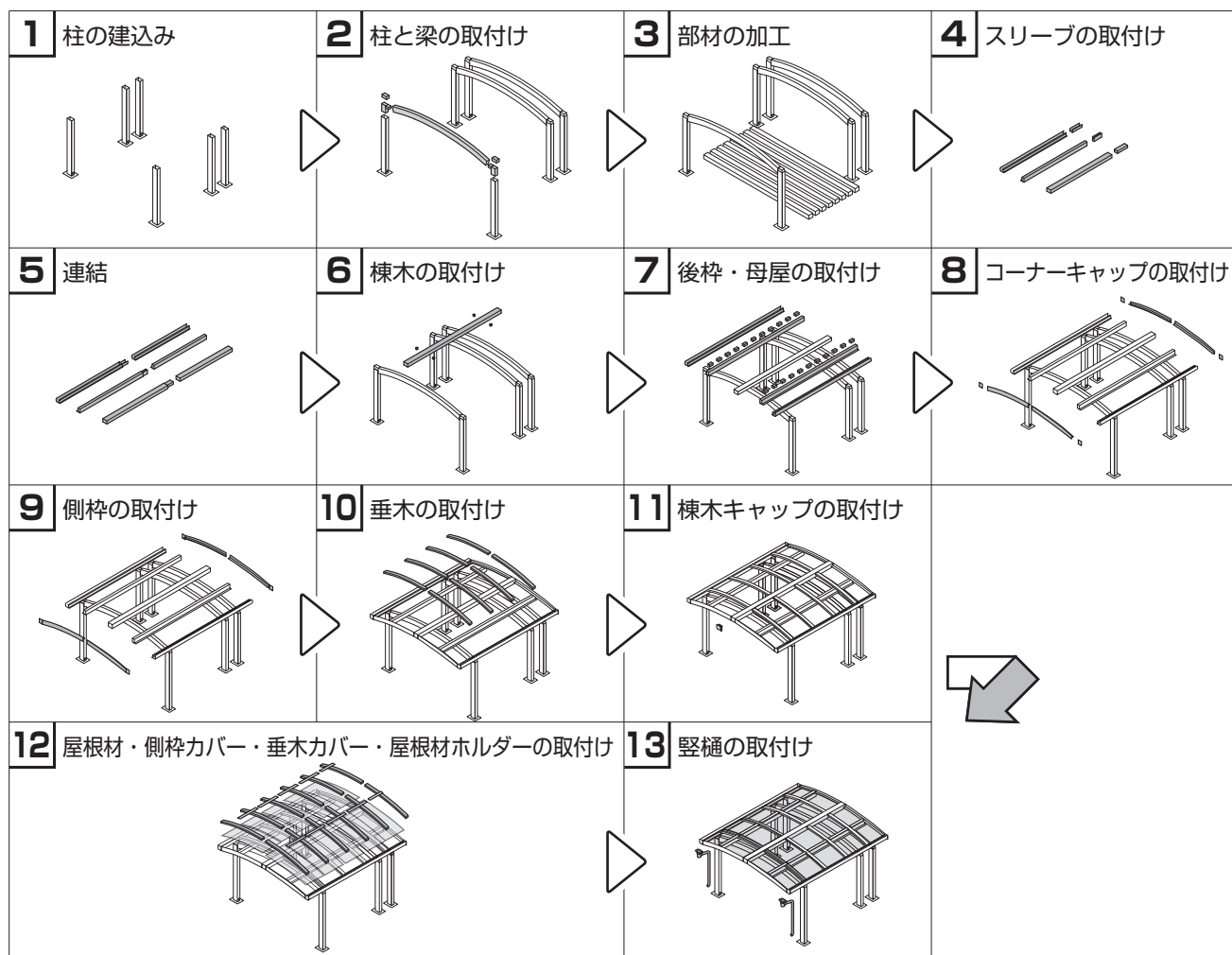
縦樋切断寸法

サイズ	L
14	299
50	355
57	507



2 連棟タイプの施工方法

2-1 施工の流れ



2 連棟タイプの施工方法

2-2 確認事項



▼ 縦連棟の場合 ▼

2-2-1 姿図

注意



▼ 柱位置を移動して施工の場合 ▼

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



P.6も事前に確認してください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補足

- 印は【柱移動】範囲を示します。



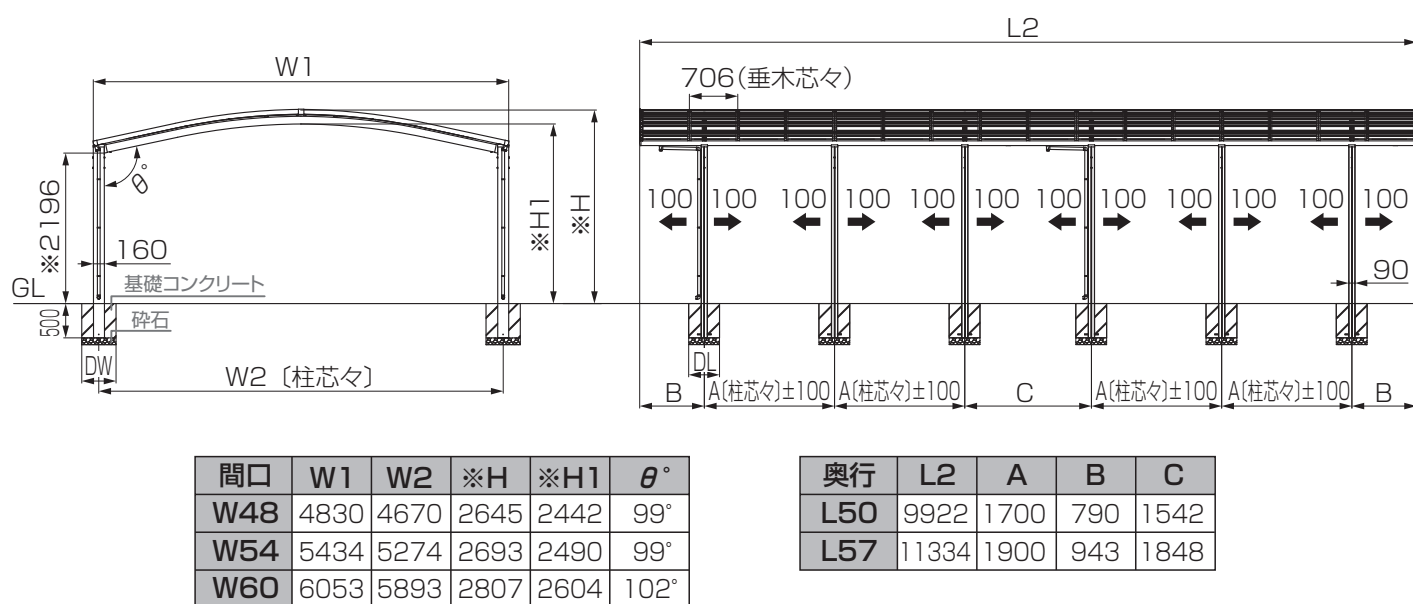
▼ ロング柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+300してください。



▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+600してください。



2-2-2 基礎の墨出し

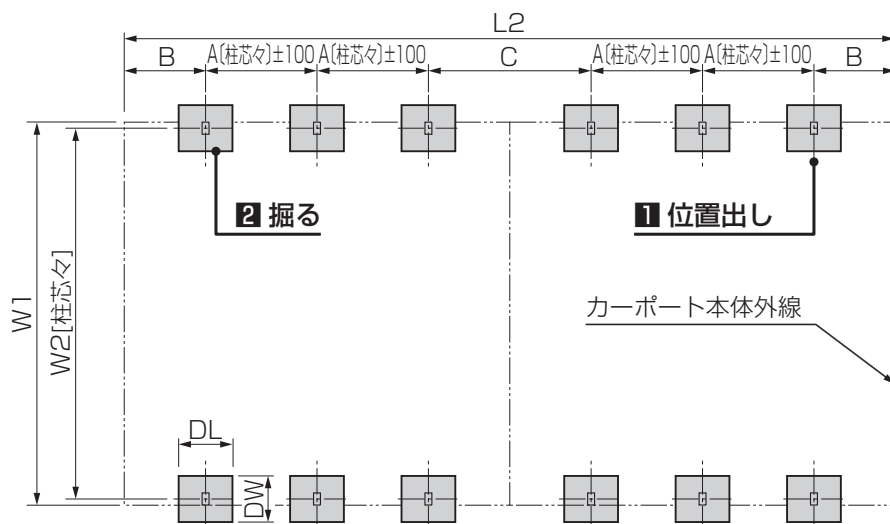
1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



▼ 基礎寸法数値について ▼

基礎寸法「DW」「DL」は「P.7」を参照してください。



2 連棟タイプの施工方法

2-2 確認事項



▼ 14延長の場合 ▼

2-2-1 姿図

注意



▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



P.6も事前に確認してください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補足

- ← 印は【柱移動】範囲を示します。



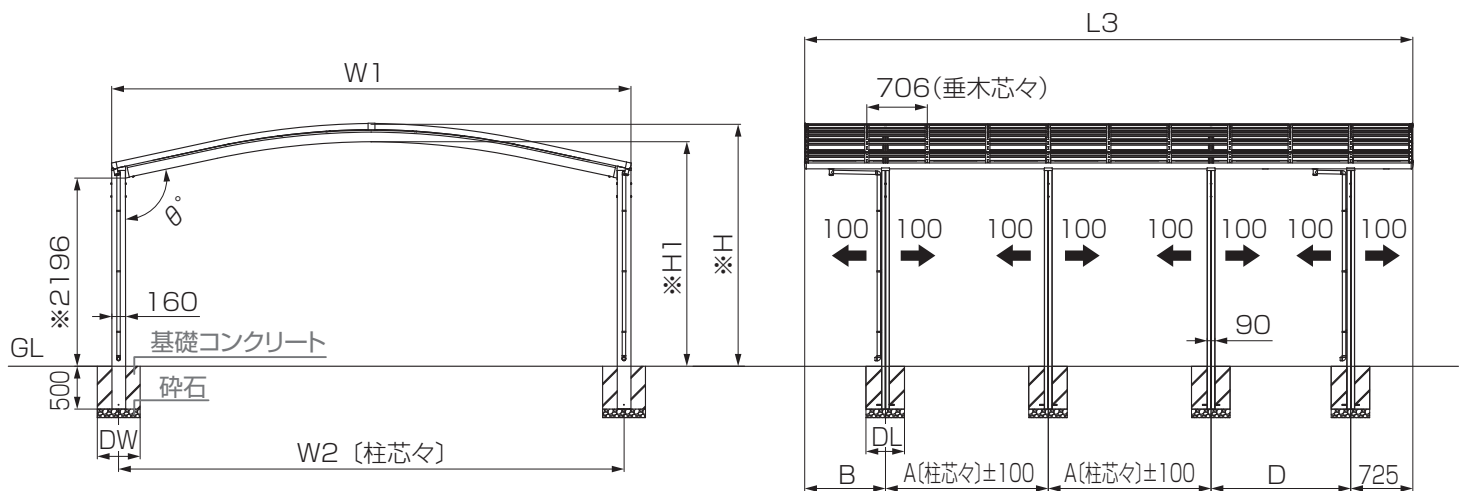
▼ ロング柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+300してください。



▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+600してください。



間口	W1	W2	※H	※H1	θ°
W48	4830	4670	2645	2442	99°
W54	5434	5274	2693	2490	99°
W60	6053	5893	2807	2604	102°

奥行	L3	A	B	D
L50+L14	6392	1700	790	1477
L57+L14	7098	1900	943	1630

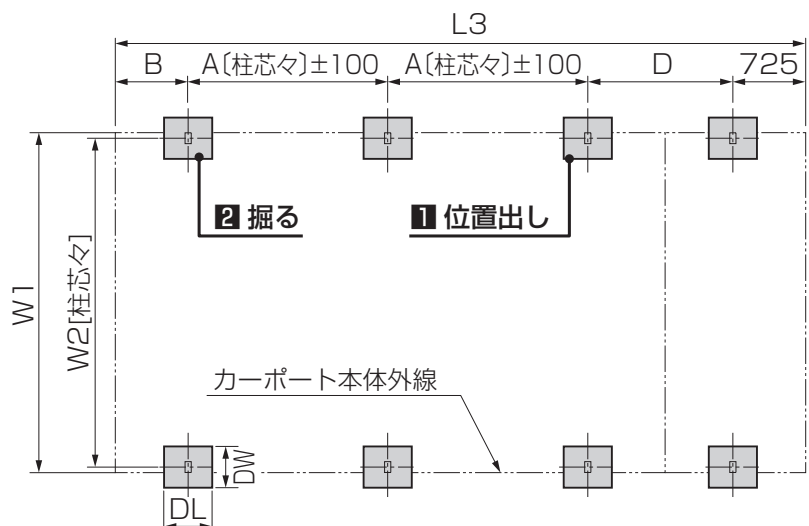
2-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



▼ 基礎寸法数値について ▼
基礎寸法「DW」「DL」は「P.7」を参照してください。

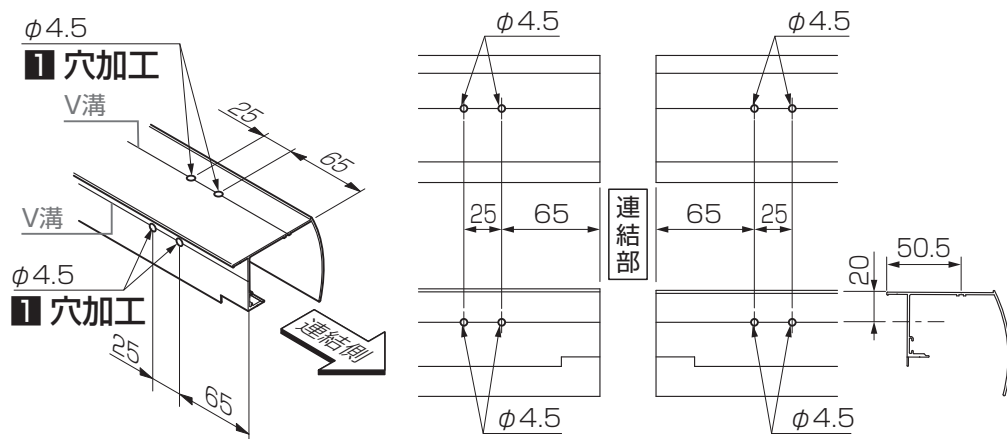


2 連棟タイプの施工方法

2-3 部材の加工

2-3-1 後枠の加工

■：後枠にφ4.5の穴加工

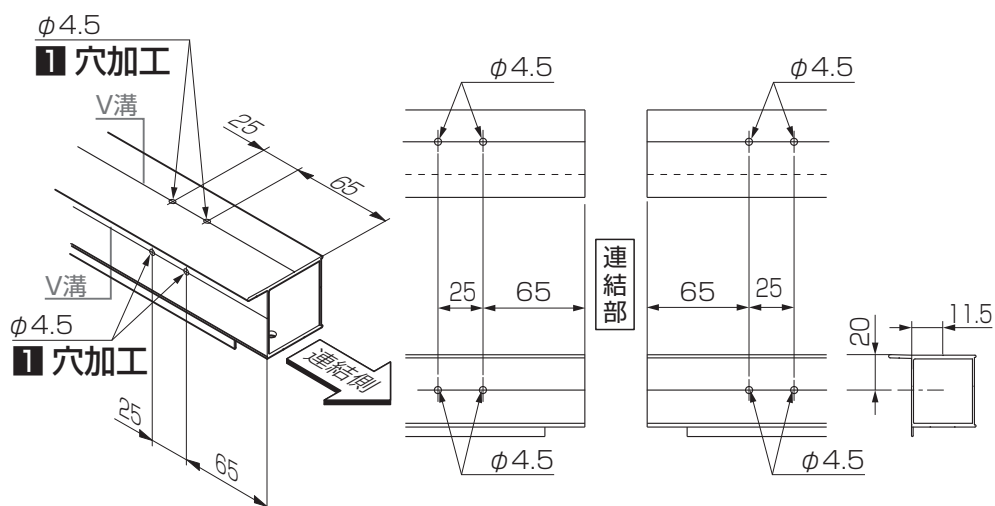
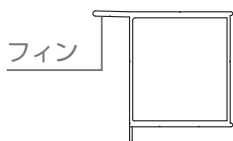


2-3-2 母屋の加工

■：母屋にφ4.5の穴加工

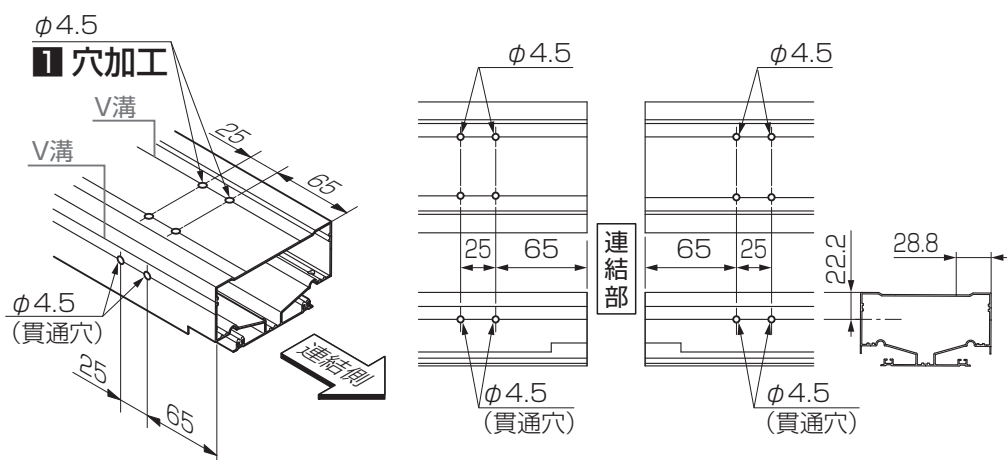
補足

●側面の穴加工はフィン側にしてください。



2-3-3 棟木の加工

■：棟木にφ4.5の穴加工

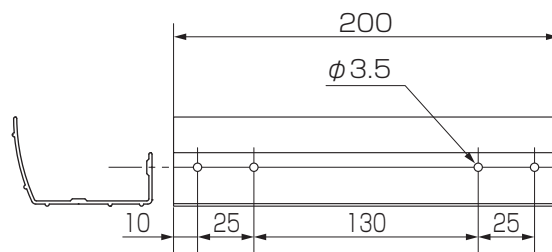
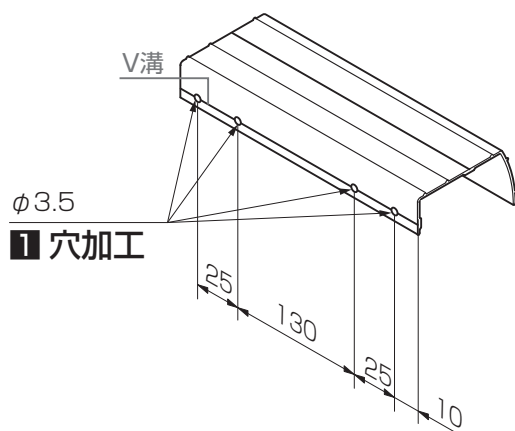


2 連棟タイプの施工方法

2-3 部材の加工

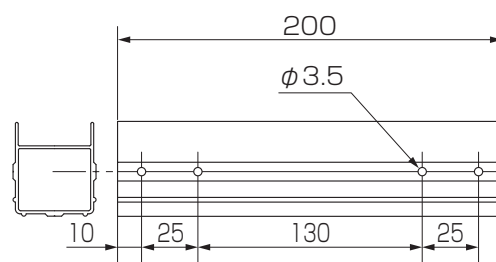
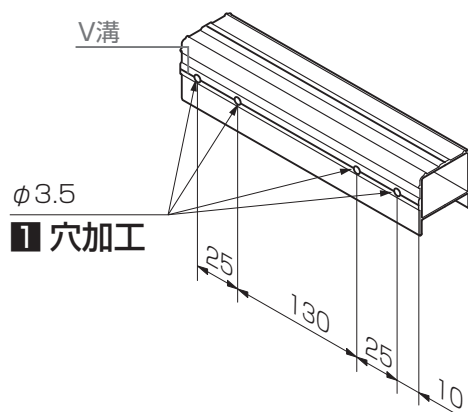
後枠スリーブ

1: 後枠スリーブに $\phi 3.5$ の穴加工



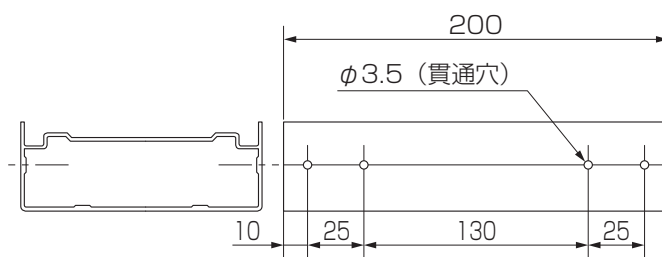
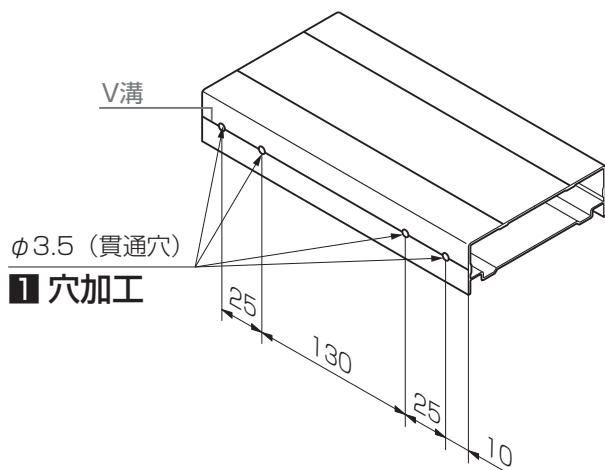
母屋スリーブ

1: 母屋スリーブに $\phi 3.5$ の穴加工



棟木スリーブ

1: 棟木スリーブに $\phi 3.5$ の穴加工



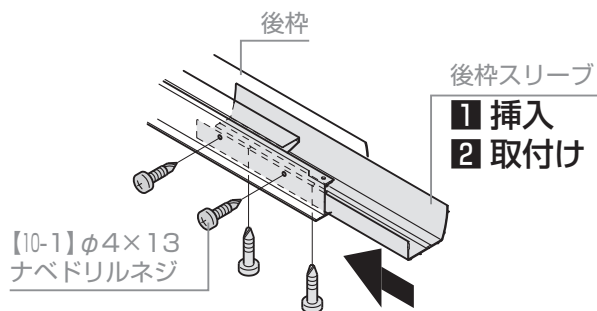
2 連棟タイプの施工方法

2-4 部材の取付け

2-4-1 スリーブの取付け

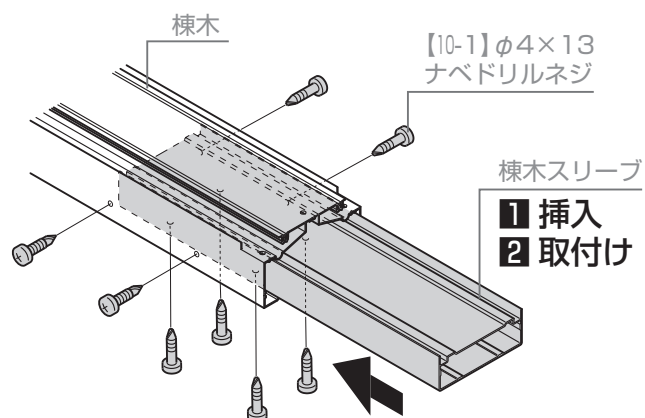
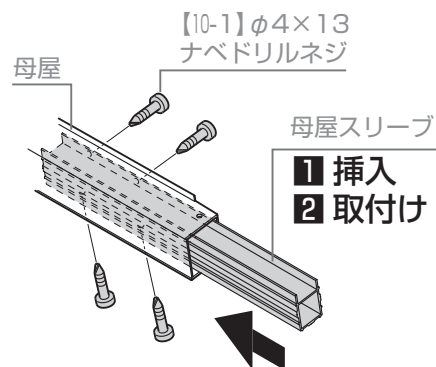
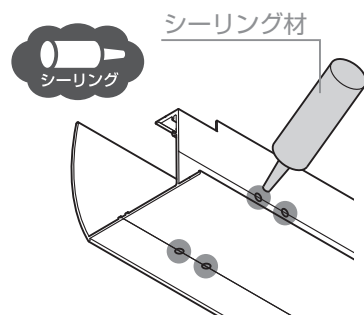
❶: 連結する後枠・母屋・棟木の片側にスリーブを挿入

❷: スリーブを後枠・母屋・棟木に【10-1】で取付け



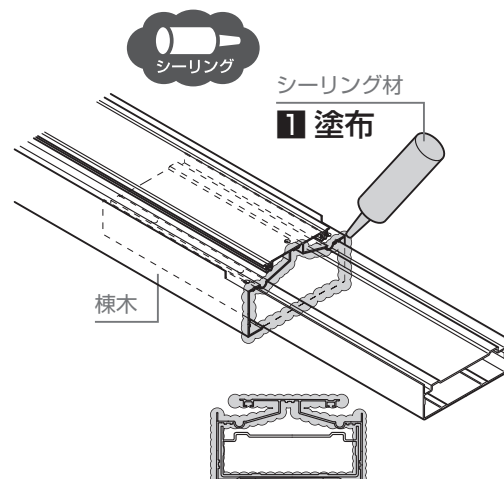
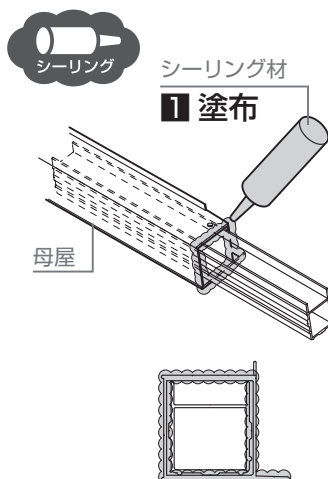
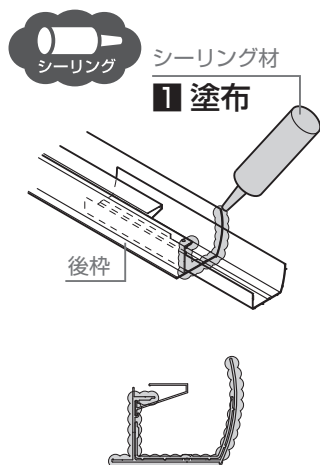
お願い

● 後枠の加工穴にシーリングを塗布してからネジ止めしてください。



2-4-2 連結部のシーリング

❶: 連結部にシーリングを塗布



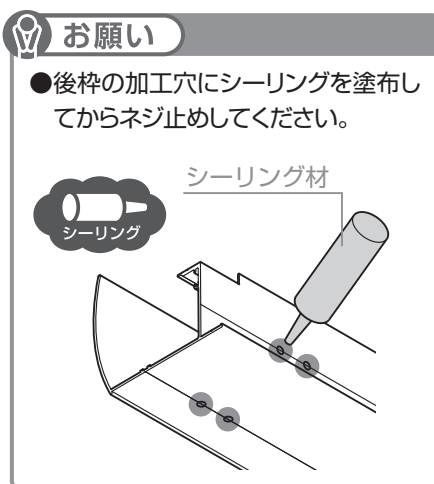
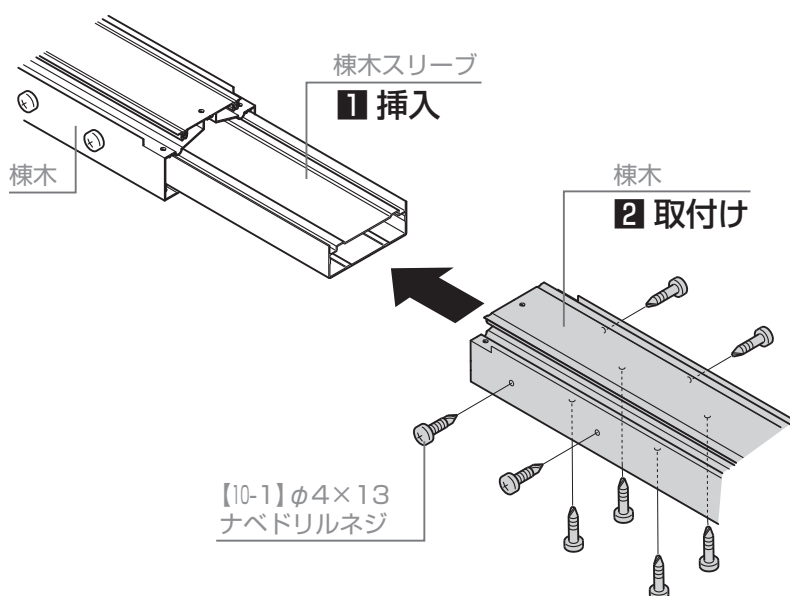
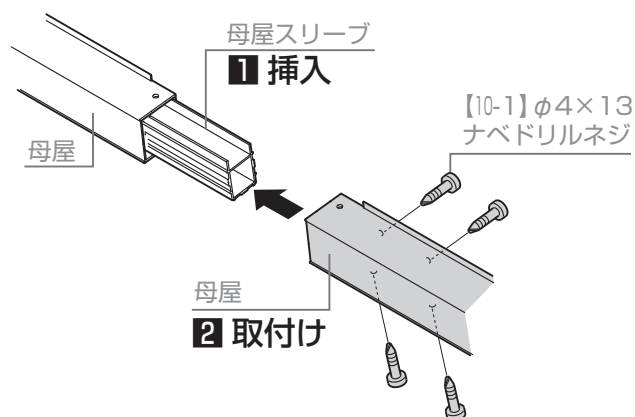
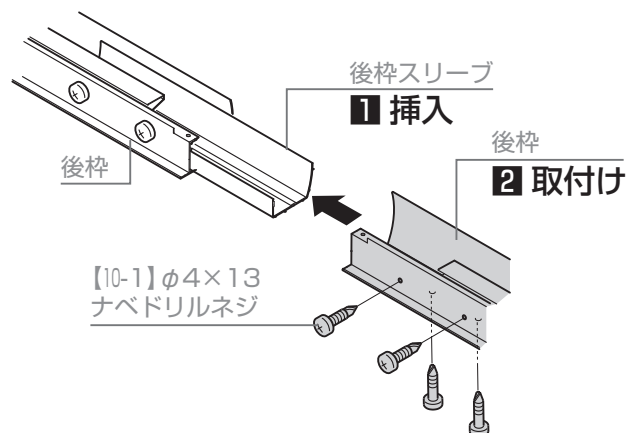
2 連棟タイプの施工方法

2-4 部材の取付け

2-4-3 連結

❶: 反対側の後枠・母屋・棟木をスリーブに挿入

❷: 後枠・母屋・棟木の片側にスリーブを【10-1】で取付け

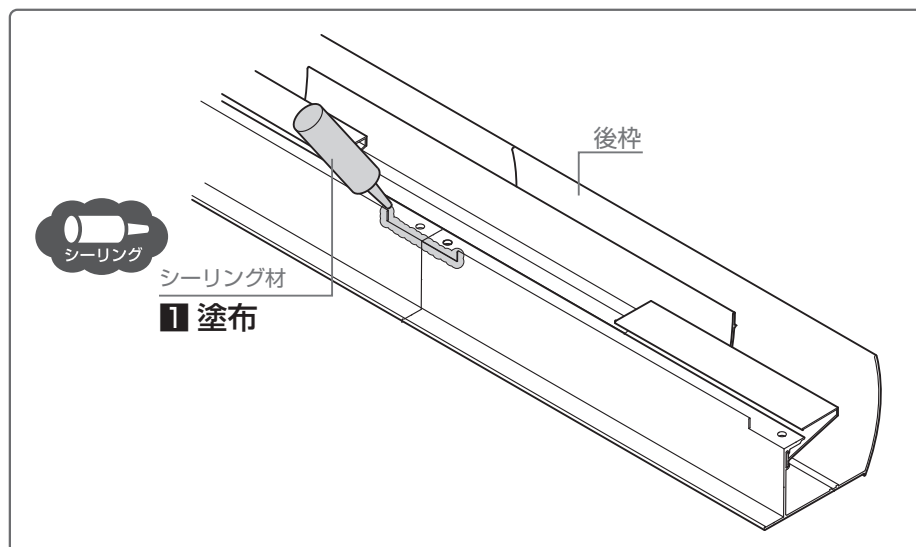


2 連棟タイプの施工方法

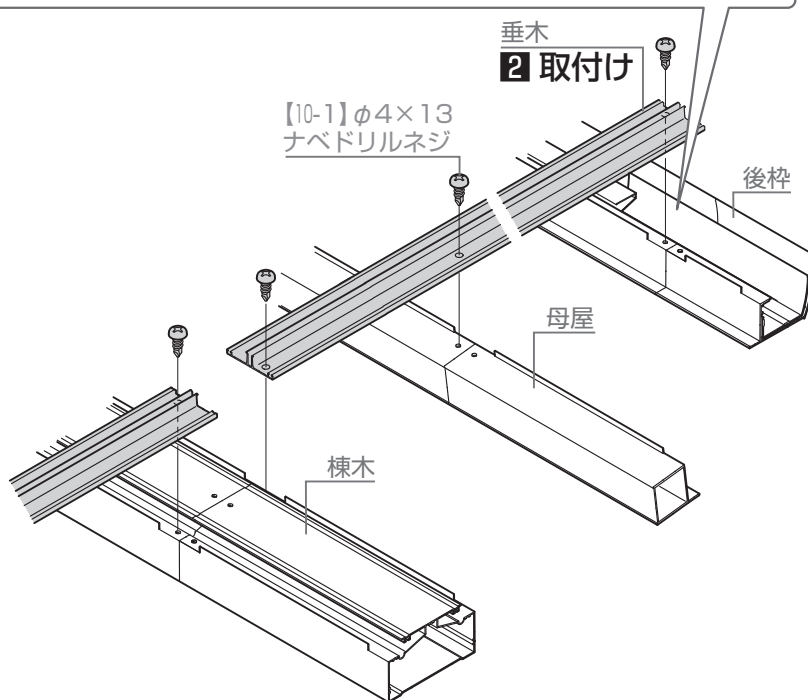
2-4 部材の取付け

2-4-4 垂木の取付け

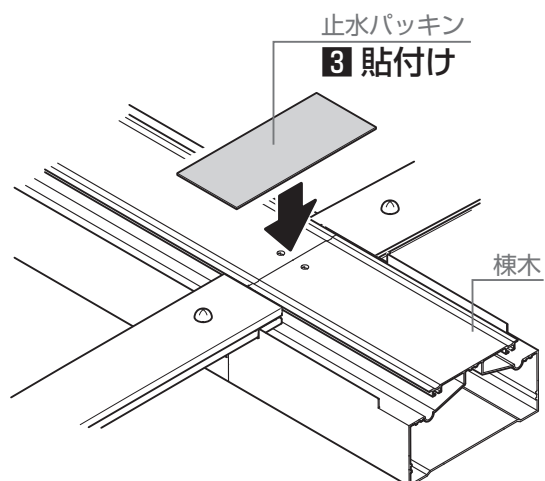
■1: 後枠の切欠き部にシーリングを塗布



■2: 垂木を連結部分に【10-1】で取付け

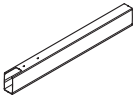


■3: 止水パッキンを棟木連結部に貼付け

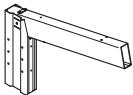


梱包明細表

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
柱		1	2

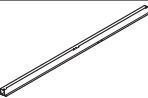
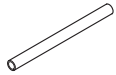
【2】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
		2本入
ブラケット		2

【3】梁セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
梁		1	2

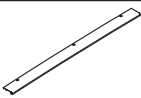
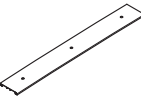
【4】長さセット

名 称	略 図	員 数			
		W48~54		W60	
		L14	L50・57	L14	L50・57
後枠		1	1	1	1
母屋		3	3	4	4
縦樋φ40 L=3500		—	1	—	1

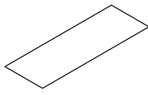
【5】棟木セット

名 称	略 図	員 数
		1本入
棟木		1

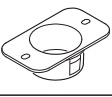
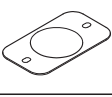
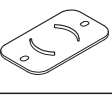
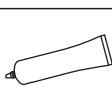
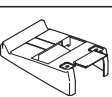
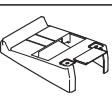
【6】幅セット

名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
側枠		左右 各1	左右 各1
側枠カバー		2	2
垂木		6	7
垂木カバー		6	7

【7】屋根材セット

名 称	略 図	員 数			
		1枚入	2枚入	3枚入	4枚入
屋根材		1	2	3	4

【8】部品セット

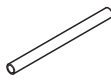
名 称	略 図	員 数			
		W48・54		W60	
		L14	L50・57	L14	L50・57
ドレンエルボ		2	2	2	2
92° エルボ (φ40)		4	4	4	4
でんでん		6	6	6	6
雨樋アタッチメント		2	2	2	2
雨樋パッキン		4	4	4	4
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2
パネル緩衝材 フーゴR		16	48	16	64
後枠コーナーキャップ (フーゴR)		—	2	—	2
後枠コーナーキャップR (フーゴR)		—	2	—	2
接着剤		1	1	1	1
柱キャップ (フーゴR_24・27)		—	—	2	6
柱梁カバー (フーゴR_24・27)		—	—	2	6
柱キャップ (R15・W48-54用)		2	6	—	—
柱梁カバー (R15・W48-54用)		2	6	—	—
棟木キャップ		—	2	—	2
棟木取付金具		2	6	2	6

梱包明細表

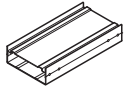
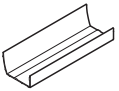
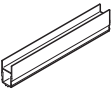
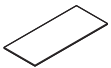
【8】 部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		W48・54		W60	
		L14	L50・57	L14	L50・57
φ8×200アンカー棒		2	6	2	2
穴隠しシールφ10		30	60	30	80
【8-1】M8×20 六角ボルトPW(緩み止め付)		12	36	12	12
【8-2】φ4×13 ナベドリルネジ		6	6	6	6
【8-3】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		134	550	160	612
取扱説明書	—	—	1	—	1
取付説明書 フーゴR1500 2台用 (基本・延長・連棟・合掌)	—	—	1	—	1

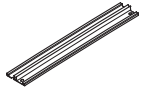
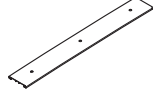
【9】 縦樋セット (オプション)

名 称	略 図	員 数	
		L=1000	L=3100
縦樋 φ40		1	1

【10】 連棟部材セット (オプション)

名 称	略 図	員 数	
		W36~54	W60
棟木スリーブ		1	1
後枠スリーブ		2	2
母屋スリーブ		6	8
棟木止水パッキン		1	1
【10-1】φ4×13 ナベドリルネジ		88	105

【11】 連棟幅セット (オプション)

名 称	略 図	員 数		
		L50	L57	L14
垂木		7	8	2
垂木カバー		7	8	2

【12】 ドレンエルボセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
ドレンエルボ φ40用		1

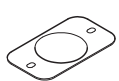
【13】 エルボセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
92°エルボ φ40用		1

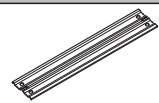
【14】 でんでんセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
でんでん		2
【14-1】φ4×13 ナベドリルネジ		2

【15】 アタッチメントセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
雨樋パッキン		2
【15-1】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		4

【16】 屋根材ホルダーセット

名 称	略 図	員 数		
		L50	L57	L14
パネル抜け防止材		7	8	2
【16-1】φ5×13 ナベドリルネジ		26	26	9
屋根材ホルダー 取付説明書(D614)	—	1	1	1

【17】 パネル緩衝材セット (オプション)

名 称	略 図	員 数
パネル緩衝材		8

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

